

第49回
府中市市政世論調査
(概要版)



平成29年
府中市

< 目 次 >

| | |
|---------------------------------|----|
| 府中市市政世論調査について | 1 |
| 回答者の概要 | 2 |
| 【住み心地】について | 3 |
| ■府中市は住みよいところだと感じるか | 3 |
| 【住まいの環境】について | 4 |
| ■身近な住まいの環境についての率直な感想 | 4 |
| 【生活の満足度】について | 5 |
| ■現在の生活にどの程度満足しているか | 5 |
| 【定住意向】について | 6 |
| ■今後も府中市に住み続けたいと思うか | 6 |
| 【市政に対する関心度】について | 7 |
| ■市政にどの程度関心を持っているか | 7 |
| 【市への要望】について | 8 |
| ■府中市に対しこれから特に力を入れてほしいこと | 8 |
| 【市税等の納付方法】について | 10 |
| ■市税等の納付方法 | 10 |
| ■「モバイルレジ」による納付 | 10 |
| ■「クレジット」による納付 | 11 |
| ■「ペイジー」による納付 | 11 |
| ■「公金決済サービス」による納付 | 12 |
| ■利用したい納付方法 | 12 |
| 【環境問題に対する取組み】について | 13 |
| ■環境に関する取組み | 13 |
| 【生物多様性地域戦略】について | 14 |
| ■「生物多様性」という言葉について | 14 |
| ■保全を目的とした活動について | 14 |
| ■保全活動に参加したいか | 15 |
| ■保全に向けて、行政に期待すること | 15 |
| 【市民協働の推進】について | 16 |
| ■「協働」という言葉を知っているか | 16 |
| ■「協働」について興味はあるか | 16 |
| ■「協働によるまちづくり」を進めるために市が力を入れるべきこと | 17 |

| | |
|---|----|
| 【府中の森芸術劇場】について | 18 |
| ■「府中の森芸術劇場」を利用したことがあるか | 18 |
| ■劇場（ホール）を利用する上で最優先に求めること | 19 |
| ■今後、「府中の森芸術劇場」を利用したいか | 20 |
| 【スポーツ・運動】について | 20 |
| ■スポーツ活動全般についてどう思うか | 20 |
| ■この1年間にスポーツや運動を行ったか | 21 |
| ■今後行ってみたいスポーツや運動は何か | 22 |
| ■府中市を拠点に活動するトップチームの認知度 | 22 |
| ■1年間で観戦したことがあるトップチームについて | 23 |
| 【地域福祉の推進】について | 24 |
| ■「住民相互の支えあい」についてどう思うか | 24 |
| ■「わがまち支えあい協議会」を知っているか | 24 |
| ■「わがまち支えあい協議会」は必要だと思うか | 25 |
| ■「地域福祉コーディネーター」を知っているか | 25 |
| ■「地域福祉コーディネーター」が配置された場合活用するか | 26 |
| 【福祉サービス第三者評価】について | 27 |
| ■「福祉サービス第三者評価」を知っているか | 27 |
| 【地域包括支援センター】について | 29 |
| ■「地域包括支援センター」の利用について | 29 |
| ■「地域包括支援センター」で強化すべきサービスについて | 30 |
| ■高齢者の生活や介護等に関して相談したことがあるか | 31 |
| 【超高齢化問題】について | 32 |
| ■2025年問題について、問題意識を持っているか | 32 |
| ■高齢者に対する施策として行政に望むものはなにか | 33 |
| 【こころの健康】について | 34 |
| ■不満や悩みに耳を傾けてくれる人について | 34 |
| ■悩みなどを感じたときに誰かに相談などをするために ためらいを感じるか | 34 |
| ■この1ヶ月間に日常生活で不満、悩み、苦勞、ストレスなどがあったか | 35 |
| ■身近な人から「死にたいほどつらい」と打ち明けられた ときの対応について | 36 |
| ■自殺対策の取組みとして、どのようなことが必要になるか | 36 |

| | |
|----------------------|----|
| 【生涯学習への取組み】について | 37 |
| ■ 講座やサークル活動への参加について | 37 |
| ■ 「生涯学習センター」の利用について | 37 |
| ■ 「学び返し」という言葉を知っているか | 38 |
| ■ 「学び返し」を実践しているか | 38 |

府中市市政世論調査について

府中市で、毎年実施してまいりました世論調査も、今回で第49回となります。

この世論調査は、市政に対するご意見・ご要望をお聞きし、諸施策に対する市民の皆様のお考えを把握することによって、今後の市政運営上の参考にさせていただくことを目的としております。

今回は市政全般のほか、「市税等の納付方法」「環境問題に対する取組み」「生物多様性地域戦略」「市民協働の推進」「府中の森芸術劇場」「スポーツ・運動」「地域福祉の推進」「福祉サービス第三者評価」「地域包括支援センター」「超高齢化問題」「こころの健康」「生涯学習への取組み」についてお聞きしました。

本書は、調査結果の一部をまとめた概要版です。

ご協力いただきました市民の皆様に、心からお礼を申し上げます。

調査の方法

| | |
|--------|--|
| 調査の地域 | : 府中市全域 |
| 調査対象者 | : 府中市在住の満20歳以上の男女 |
| 標本数 | : 1,500人 |
| 抽出方法 | : 地点を用いた二段抽出法 (住民基本台帳の登録人口を11の地区に分け、その構成比により無作為に抽出する方法) |
| 調査方法 | : 郵送法(郵送配布、郵送回収) |
| 調査期間 | : 平成29年5月12日(金)～平成29年7月31日(月) |
| 回収数(率) | : 1,103(73.5%) |

調査の内容

| | |
|----------------|-----------------|
| 1. 居住年数と前住地 | 10. 生物多様性地域戦略 |
| 2. 住み心地 | 11. 市民協働の推進 |
| 3. 住まいの環境 | 12. 府中の森芸術劇場 |
| 4. 生活の満足度 | 13. スポーツ・運動 |
| 5. 定住意向 | 14. 地域福祉の推進 |
| 6. 市政に関する関心度 | 15. 福祉サービス第三者評価 |
| 7. 市への要望 | 16. 地域包括支援センター |
| 〈第49回特設設問〉 | 17. 超高齢化問題 |
| 8. 市税等の納付方法 | 18. こころの健康 |
| 9. 環境問題に対する取組み | 19. 生涯学習への取組み |

注意事項 本書をご覧になる場合、次の点に注意してください。

- (1) 百分率(%)の計算は、小数点第2位を四捨五入して表示しています。このため、単数回答(1つだけ選ぶ設問)に表示された百分率を足し合わせても100%にならない場合があります。また、複数回答(2つ以上選んでよい設問)の設問の場合、百分率を足し合わせると100%を超える場合があります。
- (2) 図、表に表示された「n」は、各設問に対する回答者数を表します。

回答者の概要

回答数 1,103 件の属性別回答者数と構成比を表します。

〔性別〕

| | 回答者数(人) | 構成比(%) |
|-------|---------|--------|
| 男性 | 508 | 46.1 |
| 女性 | 564 | 51.1 |
| (無回答) | 31 | 2.8 |

〔職業〕

| | 回答者数(人) | 構成比(%) |
|--------------|---------|--------|
| 事務職 | 120 | 10.9 |
| 専門・技術職 | 224 | 20.3 |
| 労務・サービス職 | 112 | 10.2 |
| 役員・管理職 | 64 | 5.8 |
| 商・工・サービス業 | 43 | 3.9 |
| 自由業 | 35 | 3.2 |
| 農林漁業 | 5 | 0.5 |
| 内職・パート・フリーター | 122 | 11.1 |
| 主婦(家事専業) | 178 | 16.1 |
| 学生 | 16 | 1.5 |
| 無職 | 137 | 12.4 |
| (無回答) | 47 | 4.3 |

〔未婚・既婚〕

| | 回答者数(人) | 構成比(%) |
|-------------|---------|--------|
| 未婚 | 236 | 21.4 |
| 既婚(離別・死別含む) | 805 | 73.0 |
| (無回答) | 62 | 5.6 |

〔年齢〕

| | 回答者数(人) | 構成比(%) |
|--------|---------|--------|
| 20~29歳 | 100 | 9.1 |
| 30~39歳 | 194 | 17.6 |
| 40~49歳 | 258 | 23.4 |
| 50~59歳 | 194 | 17.6 |
| 60~69歳 | 166 | 15.0 |
| 70歳以上 | 160 | 14.5 |
| (無回答) | 31 | 2.8 |

〔ライフステージ〕

| | 回答者数(人) | 構成比(%) |
|--------------|---------|--------|
| 独身期 | 131 | 11.9 |
| 家族形成期 | 118 | 10.7 |
| 家族成長前期 | 147 | 13.3 |
| 家族成長後期・家族成熟期 | 161 | 14.6 |
| 高齢期 | 106 | 9.6 |
| 高齢者世帯 | 167 | 15.1 |
| その他 | 211 | 19.1 |
| (無回答) | 62 | 5.6 |

〔地区〕

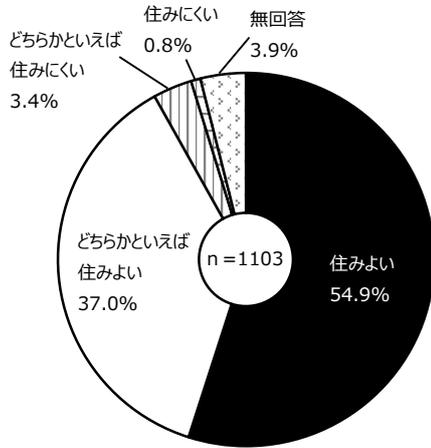
| | 総人口(人) | 対象者数(人) | 調査数(人) | 回答率(%) | 回答者数(人) | 構成比(%) |
|-----------|---------|---------|--------|--------|---------|--------|
| 紅葉丘文化センター | 22,740 | 18,096 | 124 | 72.6 | 90 | 8.2 |
| 白糸台文化センター | 28,635 | 23,537 | 162 | 72.2 | 117 | 10.6 |
| 押立文化センター | 9,943 | 8,183 | 59 | 81.4 | 48 | 4.4 |
| 是政文化センター | 24,766 | 19,982 | 141 | 72.3 | 102 | 9.2 |
| 住吉文化センター | 26,526 | 21,423 | 163 | 75.5 | 123 | 11.2 |
| 片町文化センター | 30,261 | 25,329 | 177 | 71.8 | 127 | 11.5 |
| 中央文化センター | 40,299 | 33,366 | 241 | 72.2 | 174 | 15.8 |
| 新町文化センター | 26,860 | 21,927 | 158 | 72.2 | 114 | 10.3 |
| 武蔵台文化センター | 15,038 | 12,526 | 89 | 75.3 | 67 | 6.1 |
| 西府文化センター | 18,798 | 14,850 | 104 | 72.1 | 75 | 6.8 |
| 四谷文化センター | 14,036 | 10,906 | 82 | 80.5 | 66 | 6.0 |
| 総計 | 257,902 | 210,125 | 1,500 | 73.5 | 1,103 | 100.0 |

上記対象者数は、平成29年4月1日現在の満20歳以上の人口である。

【住み心地】について

■ 府中市は住みよいところだと感じるか (n=1103)

「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせると、9割が『府中市は住みよい』と感じている。



「住みよい」(54.9%)と「どちらかといえば住みよい」(37.0%)を合わせた『住みよいと感じる』割合は、9割(91.9%)にのぼる。

また、「住みにくい」(0.8%)と「どちらかといえば住みにくい」(3.4%)を合わせた『住みにくいとを感じる』割合は4.2%である。

図1 住み心地

「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた『住みよいと感じる』割合は、年代別では、「60歳代」(94.6%)が最も高く、「70歳以上」(90.1%)が最も低い。

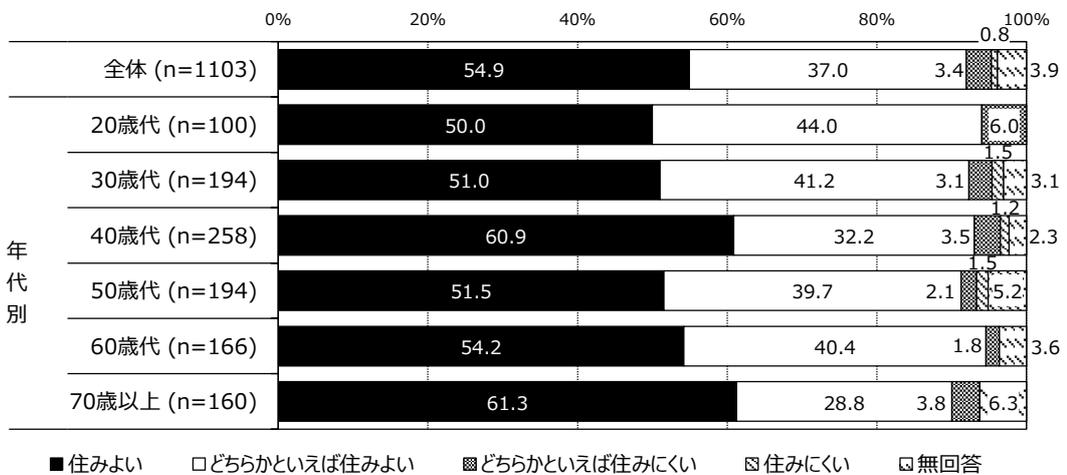


図2 住み心地(年代別)

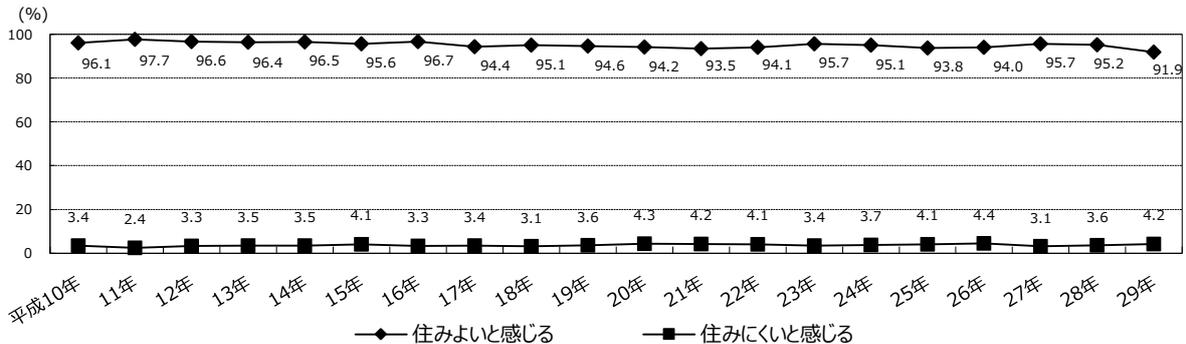


図3 経年別推移

【住まいの環境】について

■ 身近な住まいの環境についての率直な感想 (n=1103)

『非常によい』と感じている項目は、「緑の豊かさ」「風通し、日当たり」「日常の買い物の便」の順で高くなっていく。『非常に悪い』は、「騒音や振動の防止」「害虫等の発生の防止」の順で高くなっていく。

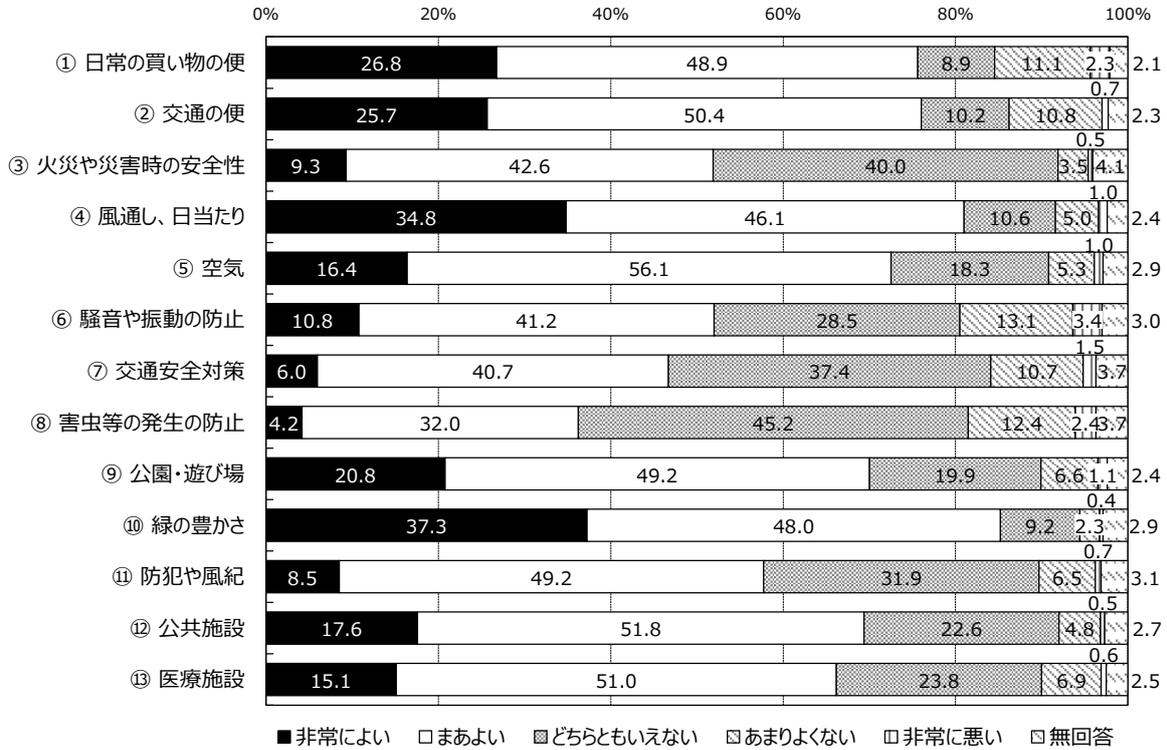


図 4 身近な住まいの環境についての感想

| 順位 | 住まいの環境 | 非常によい または まあよい (%) |
|-----|--------------|-----------------------|
| 1位 | ⑩ 緑の豊かさ | 85.3 |
| 2位 | ④ 風通し、日当たり | 80.9 |
| 3位 | ② 交通の便 | 76.1 |
| 4位 | ① 日常の買い物の便 | 75.7 |
| 5位 | ⑤ 空気 | 72.5 |
| 6位 | ⑨ 公園・遊び場 | 70.0 |
| 7位 | ⑫ 公共施設 | 69.4 |
| 8位 | ⑬ 医療施設 | 66.1 |
| 9位 | ⑪ 防犯や風紀 | 57.7 |
| 10位 | ⑥ 騒音や振動の防止 | 52.0 |
| 11位 | ③ 火災や災害時の安全性 | 51.9 |
| 12位 | ⑦ 交通安全対策 | 46.7 |
| 13位 | ⑧ 害虫等の発生の防止 | 36.2 |

表 1 『よい』と感じる割合の順

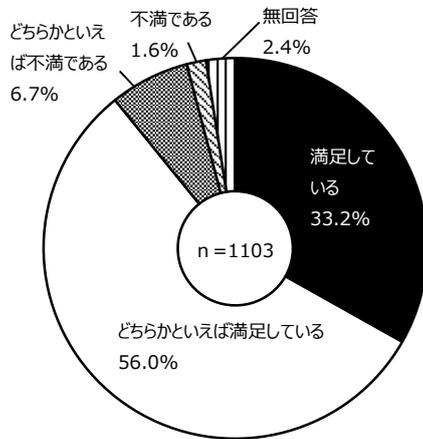
| 順位 | 住まいの環境 | あまりよくない または 非常に悪い (%) |
|-----|--------------|--------------------------|
| 1位 | ⑥ 騒音や振動の防止 | 16.5 |
| 2位 | ⑧ 害虫等の発生の防止 | 14.8 |
| 3位 | ① 日常の買い物の便 | 13.4 |
| 4位 | ⑦ 交通安全対策 | 12.2 |
| 5位 | ② 交通の便 | 11.5 |
| 6位 | ⑨ 公園・遊び場 | 7.7 |
| 7位 | ⑬ 医療施設 | 7.5 |
| 8位 | ⑪ 防犯や風紀 | 7.2 |
| 9位 | ⑤ 空気 | 6.3 |
| 10位 | ④ 風通し、日当たり | 6.0 |
| 11位 | ⑫ 公共施設 | 5.3 |
| 12位 | ③ 火災や災害時の安全性 | 4.0 |
| 13位 | ⑩ 緑の豊かさ | 2.7 |

表 2 『よくない』と感じる割合の順

【生活の満足度】について

■ 現在の生活にどの程度満足しているか (n=1103)

「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると、9割近くが『生活に満足している』と感じている。



「満足している」(33.2%)と「どちらかといえば満足している」(56.0%)を合わせた『生活に満足していると感じる』割合は、9割近く(89.2%)を占める。

また、「不満である」(1.6%)と「どちらかといえば不満である」(6.7%)を合わせた『生活に不満を感じる』割合は、1割に満たない(8.3%)。

図5 生活の満足度

年代別では、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『生活に満足していると感じる』割合は、「40歳代」(93.0%)が最も高く、「20歳代」(87.0%)が最も低い。

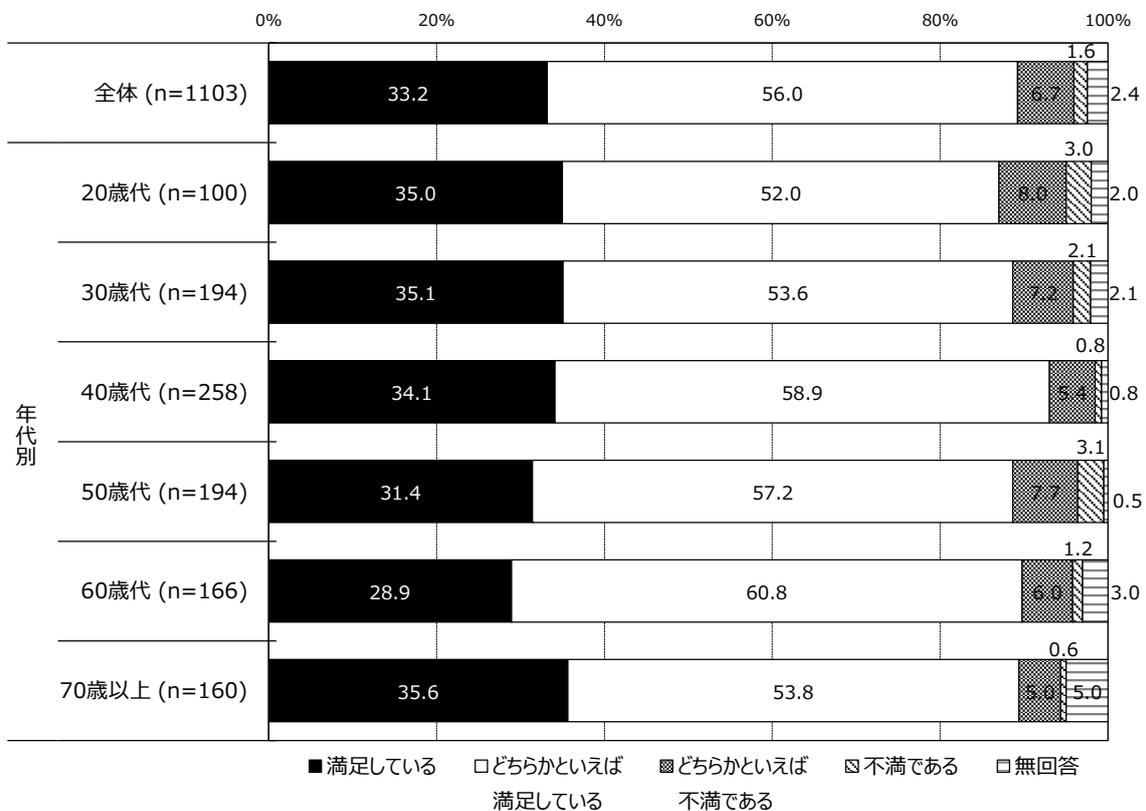
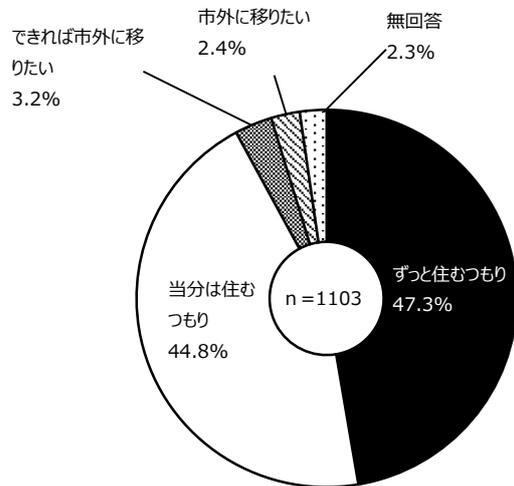


図6 生活の満足度 (年代別)

【定住意向】について

■ 今後も府中市に住み続けたいと思うか (n=1103)

「ずっと住むつもり」と「当分は住むつもり」を合わせると、9割以上が『今後も府中市に住み続けたい』と感じている。



「ずっと住むつもり」(47.3%)と「当分は住むつもり」(44.8%)を合わせた『住み続けたいと感じている』割合は、9割以上を占める(92.1%)。また、「市外に移りたい」(2.4%)と「できれば市外に移りたい」(3.2%)を合わせた『市外に移りたいと感じている』割合は、5.6%である。

図7 定住意向

年代別では、「ずっと住むつもり」と「当分は住むつもり」を合わせた『住み続けたいと感じている』割合は、「70歳以上」(95.0%)が最も高く、「20歳代」(81.0%)が最も低い。

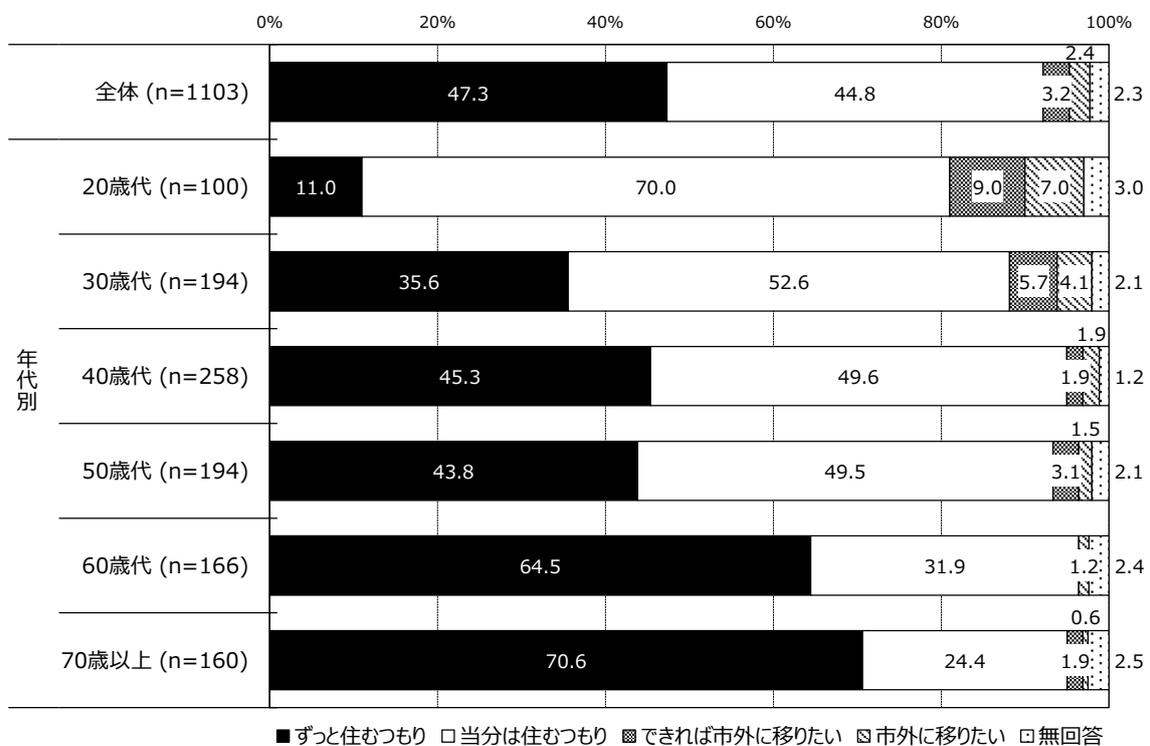
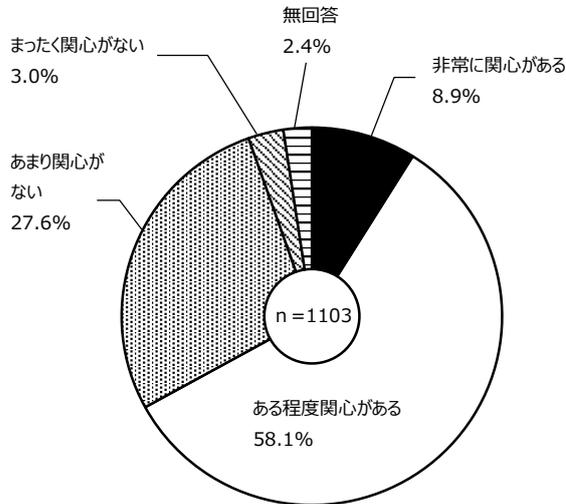


図8 定住意向 (年代別)

【市政に対する関心度】について

■ 市政にどの程度関心を持っているか (n=1103)

「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせると、6割半ばが市政に関心を持っている。



「非常に関心がある」(8.9%)と「ある程度関心がある」(58.1%)を合わせた『市政に関心がある』割合は 67.0%で、6割半ばが市政に関心を持っている。

一方、『市政に関心がない』割合は、「まったく興味がない」(3.0%)と「あまり興味がない」(27.6%)を合わせた 30.6%である。

図9 市政に対する関心度

年代別では、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『市政に関心がある』割合は、「70歳以上」(74.4%)が最も高く、「20歳代」(43.0%)が最も低い。

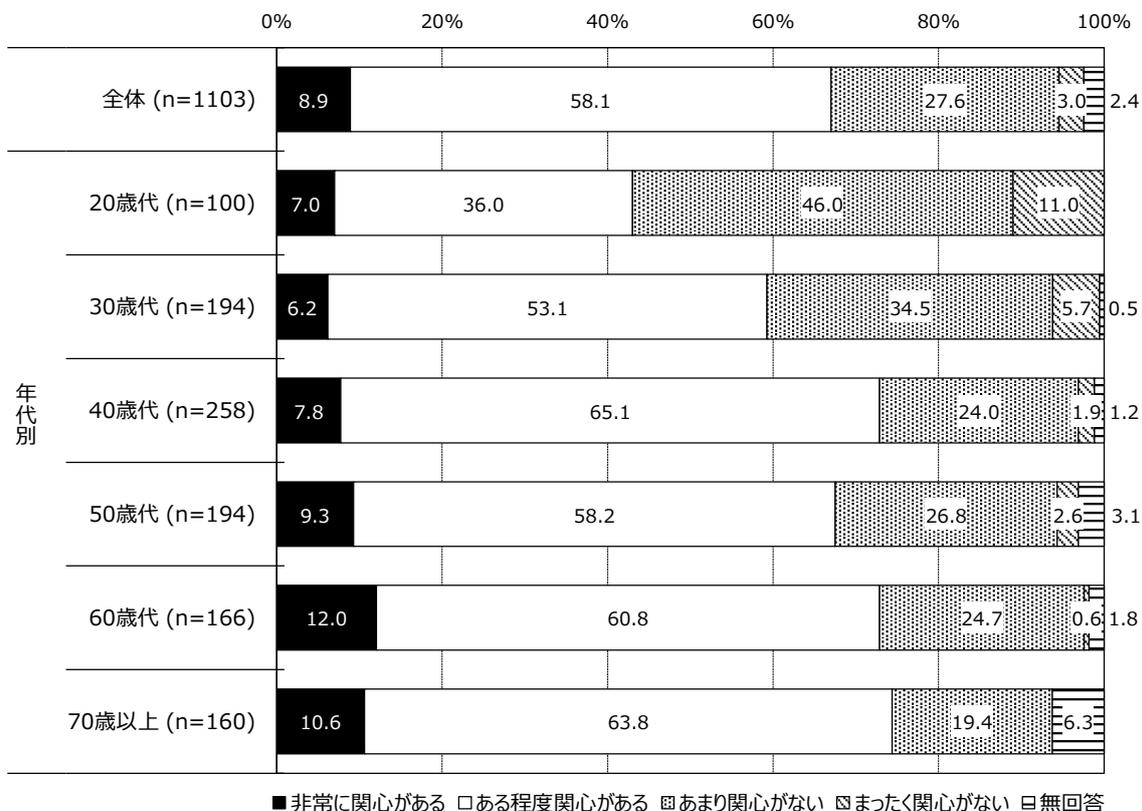


図10 市政に対する関心度(年代別)

【市への要望】について

■ 府中市に対しこれから特に力を入れてほしいこと（n=1103：複数回答）

「高齢者福祉対策」(35.3%)、「防犯・風紀対策」(24.2%)の順に高くなっている。これらに続いて「市民の健康管理対策」(17.4%)、「道路の整備」(17.0%)「保育行政の充実」(15.4%)、「清掃・環境整備対策」(14.1%)の順となっている。

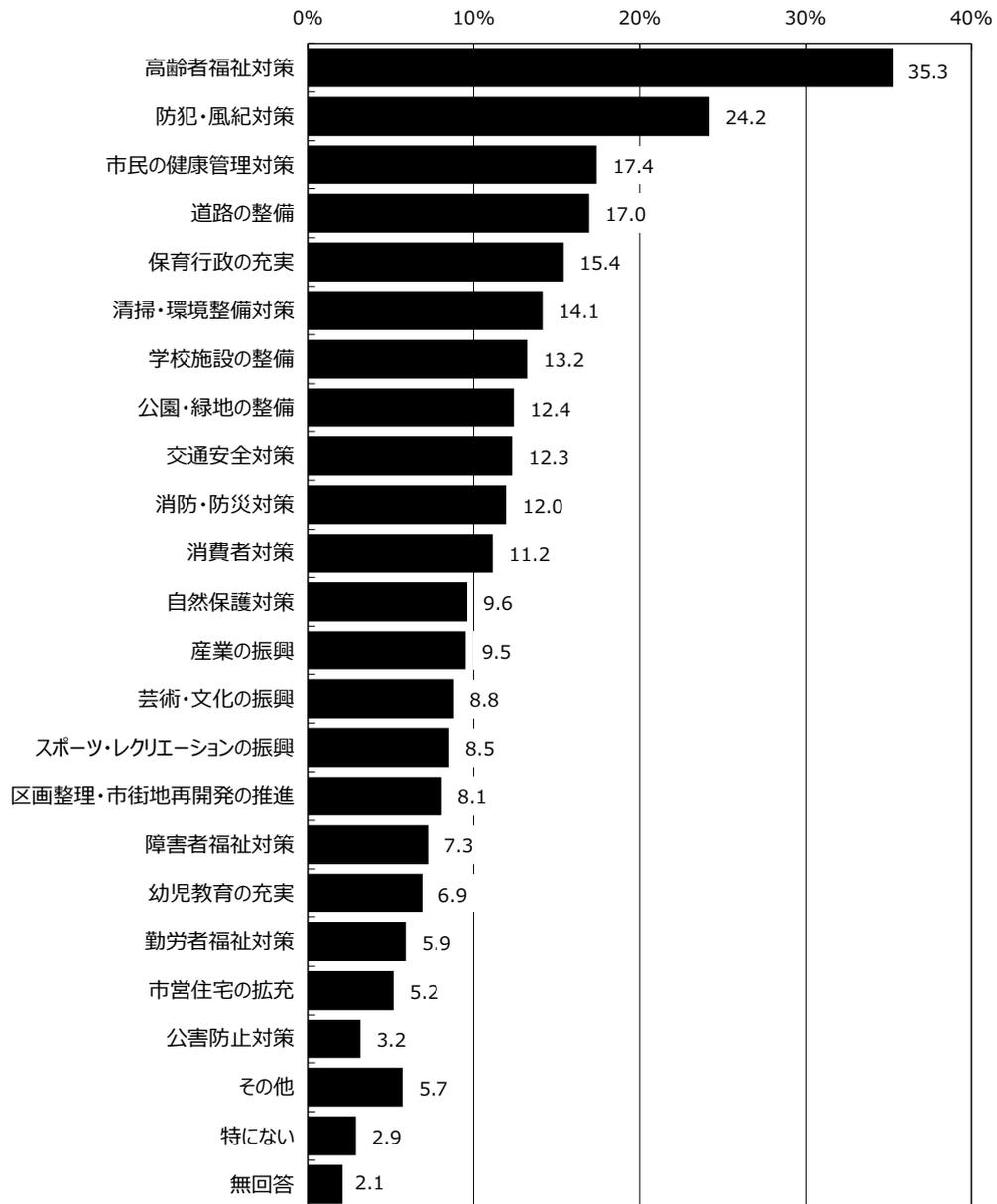


図 11 市への要望

上位5項目について平成20年度からの順位変動を見ると、今年度1位の「高齢者福祉対策」は、常に1位となっている。「防犯・風紀対策」は、常に上位3位に入っている。3位の「市民の健康管理対策」は、毎年上位5位に入っている。4位の「道路の整備」は27年度より、5位の「保育行政の充実」は26年度より、常に上位5位に入っている。

| | n | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
|-------|------|------------------|--------------------|--------------------|--------------------|----------------------------|
| 平成29年 | 1103 | 高齢者福祉対策 35.3% | 防犯・風紀対策 24.2% | 市民の健康管理対策 17.4% | 道路の整備 17.0% | 保育行政の充実 15.4% |
| 28年 | 996 | 高齢者福祉対策 34.8% | 防犯・風紀対策 22.5% | 市民の健康管理対策 19.7% | 保育行政の充実 18.6% | 道路の整備 16.0% |
| 27年 | 824 | 高齢者福祉対策 35.2% | 防犯・風紀対策 23.7% | 市民の健康管理対策 18.4% | 清掃・環境整備対策 15.7% | 道路の整備/ 保育行政の充実 14.3% |
| 26年 | 844 | 高齢者福祉対策 41.6% | 防犯・風紀対策 29.1% | 市民の健康管理対策 18.5% | 清掃・環境整備対策 16.1% | 保育行政の充実 14.3% |
| 25年 | 836 | 高齢者福祉対策 38.2% | 防犯・風紀対策 24.5% | 清掃・環境整備対策 18.7% | 市民の健康管理対策 17.5% | 消防・防災対策 14.2% |
| 24年 | 846 | 高齢者福祉対策 35.6% | 防犯・風紀対策 28.1% | 市民の健康管理対策 17.8% | 交通安全対策 17.3% | 消防・防災対策 15.2% |
| 23年 | 835 | 高齢者福祉対策 34.4% | 防犯・風紀対策 26.7% | 清掃・環境整備対策 18.1% | 市民の健康管理対策 17.0% | 消防・防災対策 16.4% |
| 22年 | 889 | 高齢者福祉対策 43.5% | 市民の健康管理対策 27.0% | 防犯・風紀対策 21.9% | 清掃・環境整備対策 19.6% | 自然保護対策/ 消費者対策 15.7% |
| 21年 | 881 | 高齢者福祉対策 42.0% | 防犯・風紀対策 27.0% | 清掃・環境整備対策 26.6% | 市民の健康管理対策 20.0% | 消費者対策 16.1% |
| 20年 | 889 | 高齢者福祉対策 42.2% | 防犯・風紀対策 30.6% | 清掃・環境整備対策 25.8% | 市民の健康管理対策 18.3% | 消費者対策 15.3% |

表3 経年推移(上位5位)

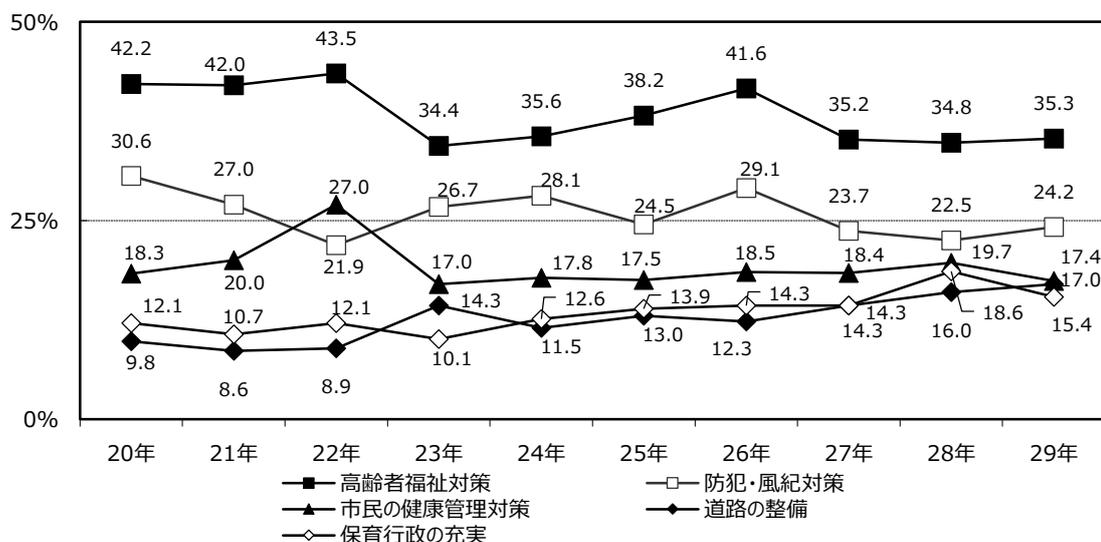


図12 経年推移(上位5位)

【市税等の納付方法】について

■市税等の納付方法（n=1103：複数回答）

半数以上が「口座振替」(51.4%)を利用している。続いて、「コンビニエンスストア」(38.3%)、「金融機関等(ゆうちょ銀行含む)の窓口」(28.9%)、「モバイルレジ」(0.9%)の順になっている。

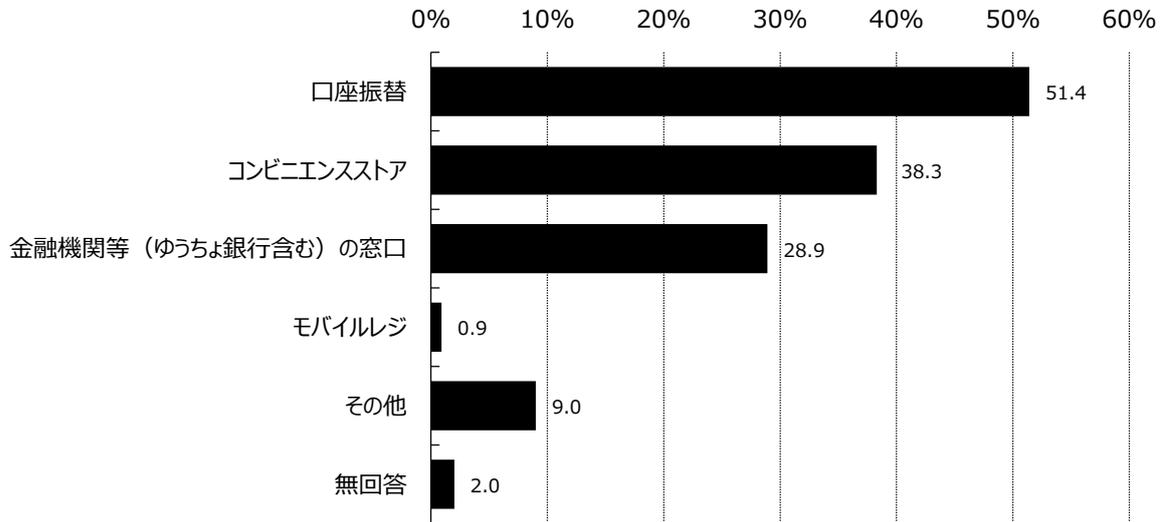


図 13 市税等の納付方法

■「モバイルレジ」による納付（n=1103）

「聞いたこともなく、今後も利用したくない」(53.3%)、「知っているが、今後も利用したくない」(18.2%)を合わせた『利用したくない』という割合は7割を占めている(71.5%)。「知っており、利用したことがある」(1.9%)と「知っており、今後利用してみたい」(4.0%)と「聞いたことはなかったが、今後利用してみたい」(20.4%)を合わせた『利用したい』という割合は2割半ばである(26.3%)。

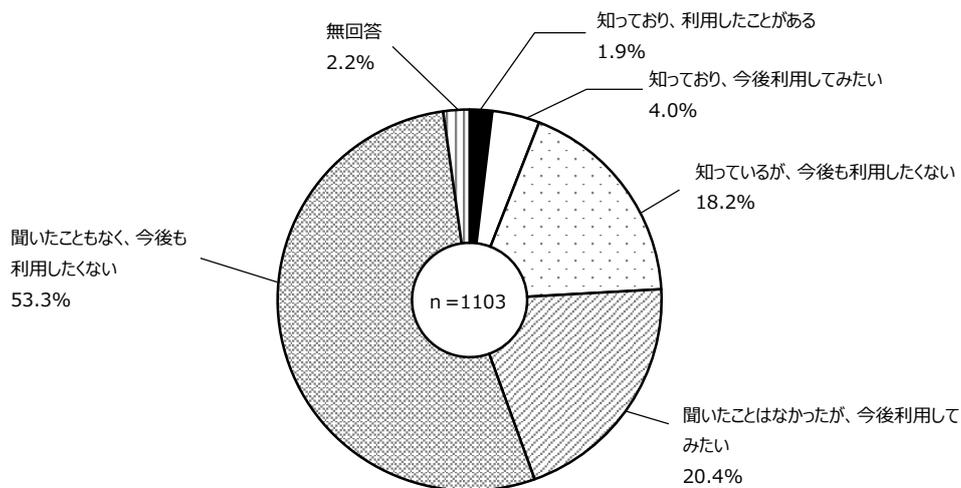


図 14 「モバイルレジ」による納付

■「クレジット」による納付 (n=1103)

「利用したくない」(49.3%)が約半数を占めている。また、「利用したい」(26.6%)と答えた割合は2割半ばとなっている。

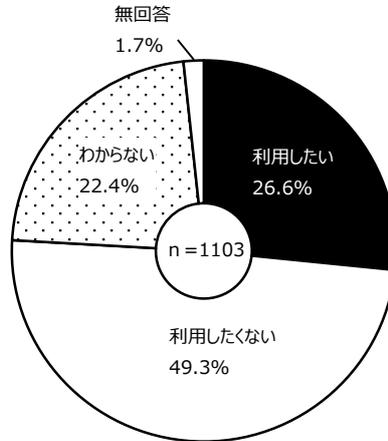


図 15 「クレジット」による納付

■「ペイジー」による納付 (n=1103)

「知っているが、利用したくない」(29.6%)と「聞いたこともなく、利用したくない」(37.4%)を合わせた『利用したくない』という割合は6割半ばを超えている(67.0%)。「知っており、利用してみたい」(15.0%)と「聞いたことはなかったが、利用してみたい」(16.6%)を合わせた『利用してみたい』割合は3割を超える(31.6%)。

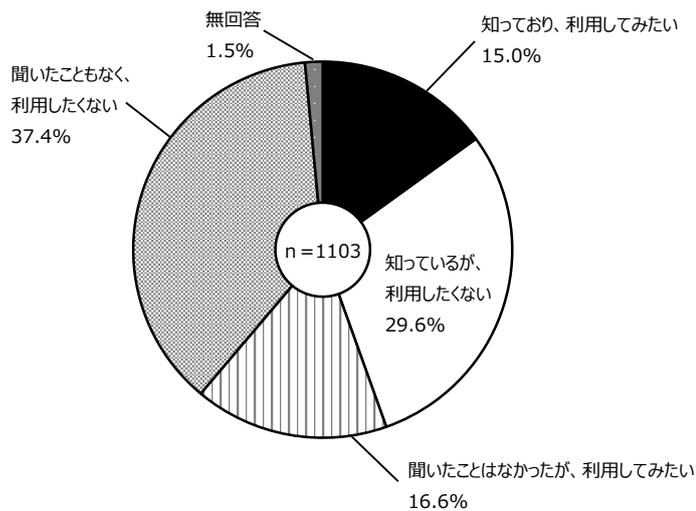


図 16 「ペイジー」による納付

■「公金決済サービス」による納付 (n=1103)

「知っているが、利用したくない」(14.0%)と「聞いたこともなく、利用したくない」(54.4%)を合わせた『利用したくない』割合は約 7 割を占めており(68.4%)、「知っており、利用してみたい」(4.4%)と「聞いたことはなかったが、利用してみたい」(24.7%)を合わせた『利用してみたい』割合が約 3 割となっている (29.1%)。

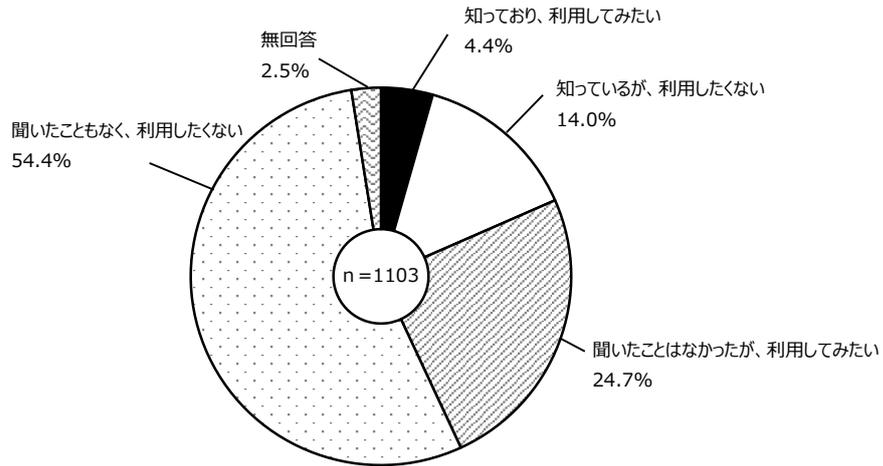


図 17 「公金決済サービス」による納付

■利用したい納付方法 (n=1103 : 複数回答)

「口座振替」(53.7%)が最も高くなっている。続いて、「コンビニエンスストア」(44.9%)、「金融機関 (ゆうちょ銀行含む) の窓口」(26.4%)、「クレジット」(22.9%)、「ペイジー」(9.2%)、「モバイルレジ」(3.9%)の順になっている。

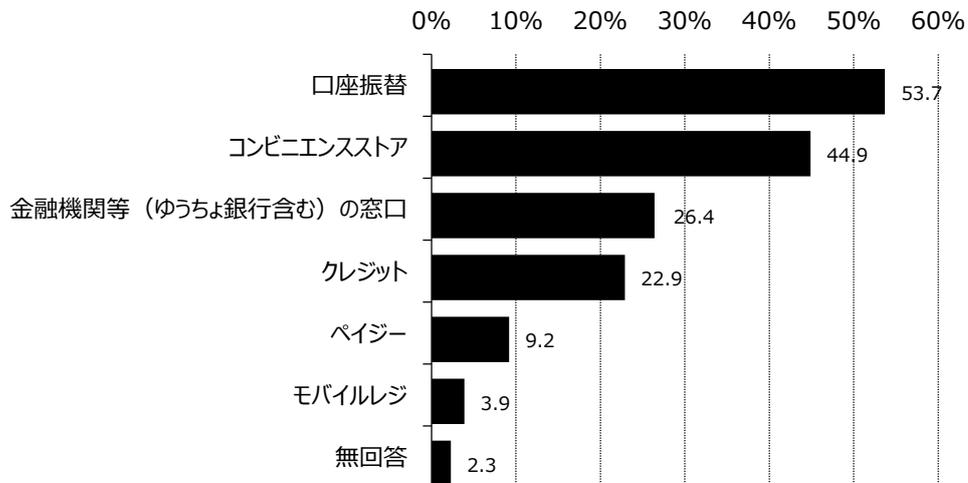


図 18 利用したい納付方法

【環境問題に対する取組み】について

■ 環境に関する取組み (n=1103)

「取組んでいる」は、「レジ袋や過剰包装の辞退、「ばら売り」や「袋売り」の利用、詰め替え商品の購入」(47.1%)、「食べ残しや消費期限切れ等による廃棄食品の減量、生ごみの堆肥利用などによるごみの減量」(28.8%)、「エアコン温度の設定、シャワーの使用時間の短縮、エコドライブなどの省エネ行動を実践するとともに、省エネ機器の活用等による取組効果の見える化」(27.8%)の順で高くなっている。「まったく取組んでいない」は、「馬場大門のケヤキ並木の保全や公園・緑地の清掃・管理」(82.4%)、「多摩川・用水路・湧水などの水辺環境や水質の調査、動植物などの自然環境調査」(82.1%)、「環境保全活動センターを積極的に活用し、情報収集やイベント等に参加」(60.7%)の順で高くなっている。

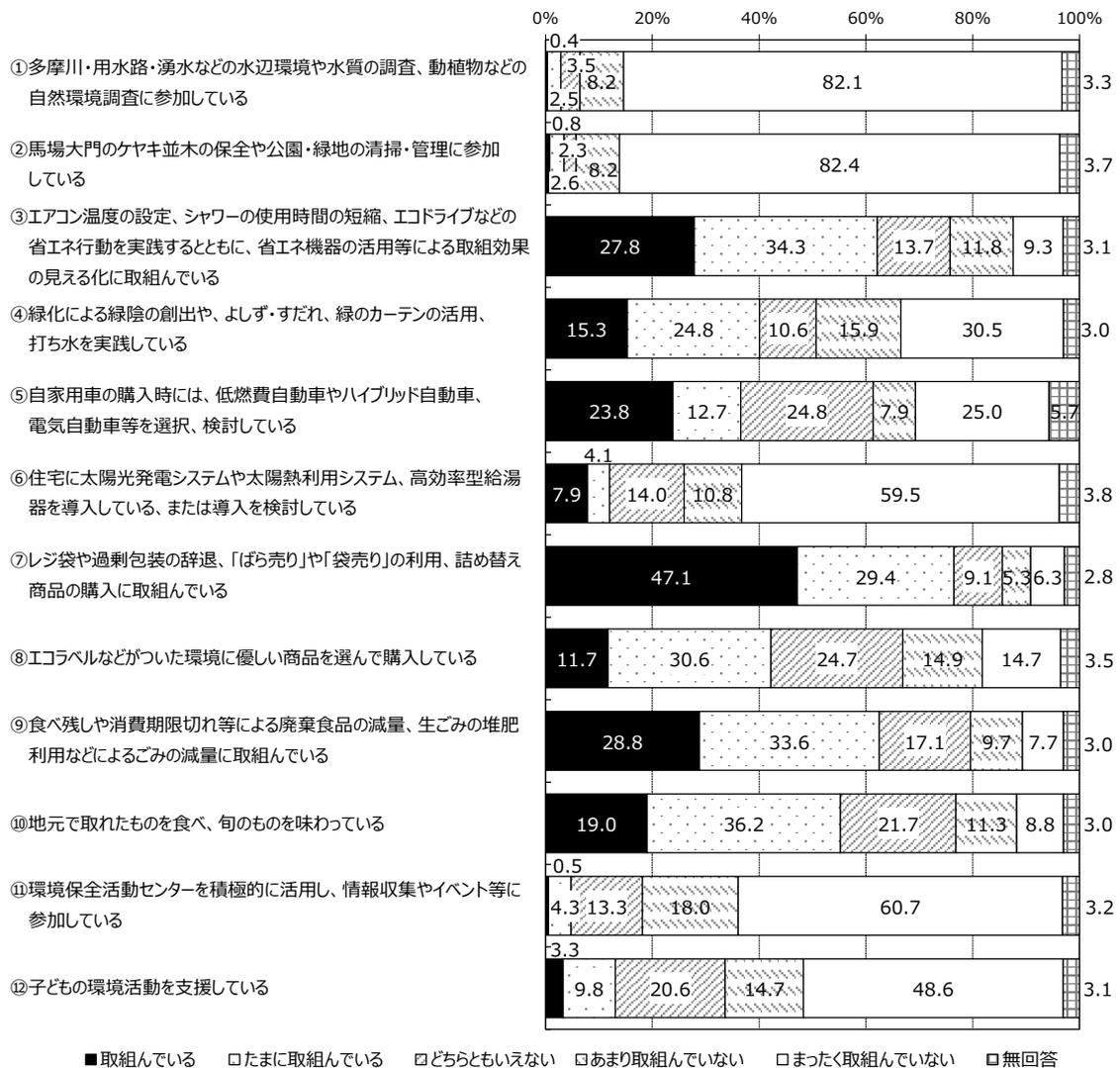


図 19 環境に関する取組み

【生物多様性地域戦略】について

■「生物多様性」という言葉について (n=1103)

「言葉の意味を知っている」(33.2%)、「意味は知らないが、聞いたことはある」(32.3%)、「聞いたことがない」(31.7%)は、ほぼ均等の3割程度となっている。

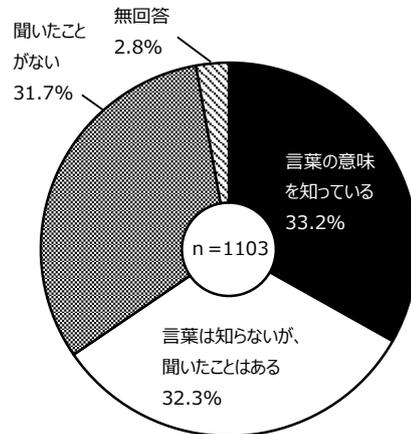


図 20 「生物多様性」という言葉について

■ 保全を目的とした活動について (n=1103)

「知らない」(77.6%)が7割半以上を占めており、「知っている」(19.5%)は2割程度となっている。また、知っている地域の活動としては「浅間山の全山清掃」(61.4%)と「公共機関(博物館、公民館を含む)が開催する自然観察会」(53.5%)が5割を超えている。

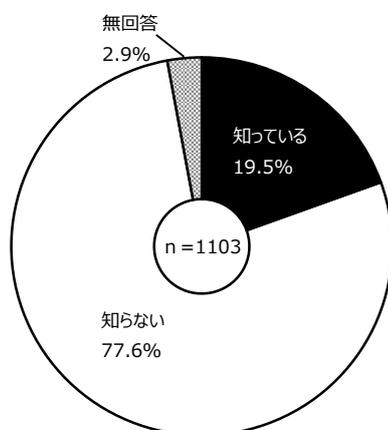
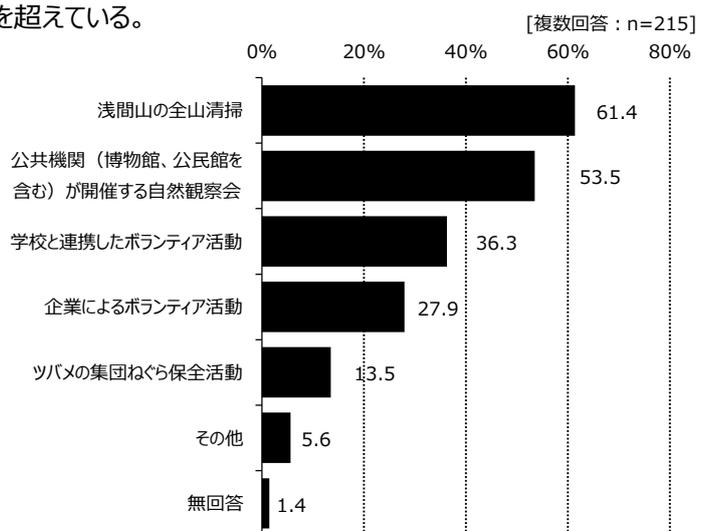


図 21 保全を目的とした活動について



※図 21 で「知っている」を選択した回答者を対象とする

図 22 知っている地域の活動

■ 保全活動に参加したいか (n=1103)

「内容によっては参加したい」(39.3%)が最も高く、続いて「わからない」(33.5%)、「参加したくない」(17.9%)の順となっている。また、参加したいと思う保全活動は「自然観察会」(57.5%)が最も高くなっている。

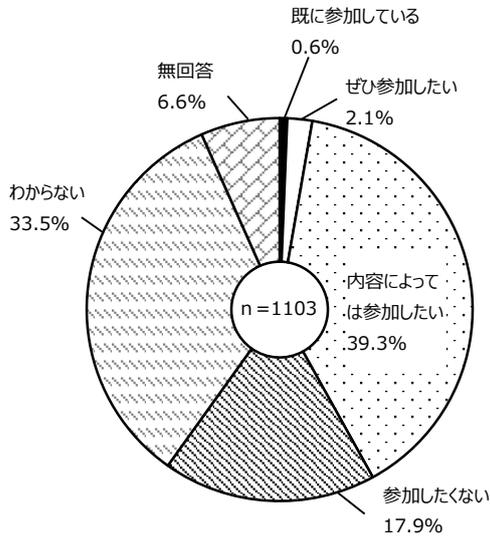
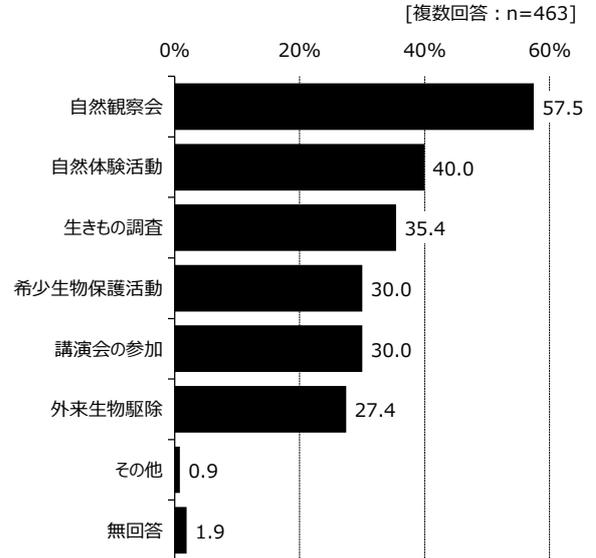


図 23 保全活動に参加したいか



※図 23 で「既に参加している」「ぜひ参加したい」「内容によっては参加したい」を選択した回答者を対象とする

図 24 参加したいと思う保全活動

■ 保全に向けて、行政に期待すること (n=1103)

「外来生物への対策」(36.4%)が最も高い。続いて、「地球温暖化の防止対策」(16.6%)、「自然環境学習ができる場所の提供」(11.1%)の順に高くなっている

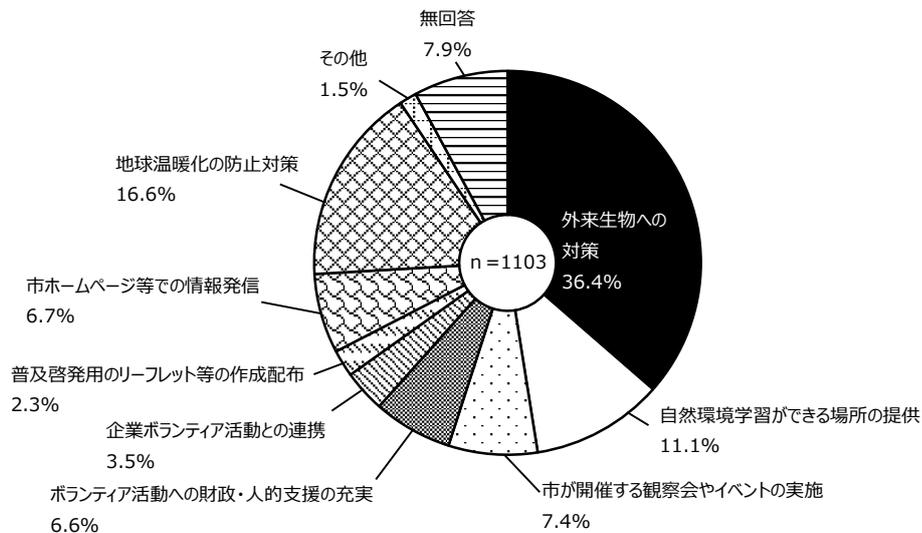


図 25 保全に向けて、行政に期待すること

【市民協働の推進】について

■「協働」という言葉を知っているか (n=1103)

「言葉も意味も知らない」(45.0%)が最も高い。「聞いたことはあるが、内容までは知らなかった」(30.8%)は3割程度あり、「言葉も意味も知っている」(22.2%)は2割程度となっている。

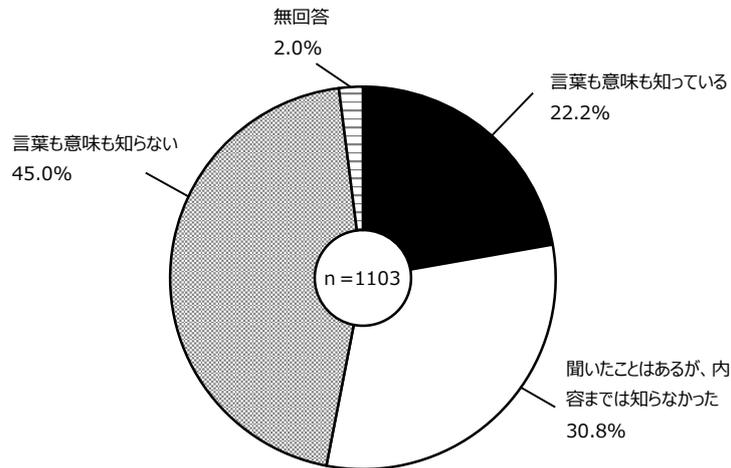


図 26 「協働」という言葉を知っているか

■「協働」について興味はあるか (n=1103)

「あまり興味がない」(34.3%)が最も高い。「少し興味がある」(31.8%)は3割程度あり、続いて「わからない」(17.9%)、「興味がない」(8.3%)の順になっている。また、「協働」について理解を深めたいと思うものは「具体的な協働事業とその成果」(82.7%)が最も高くなっている。

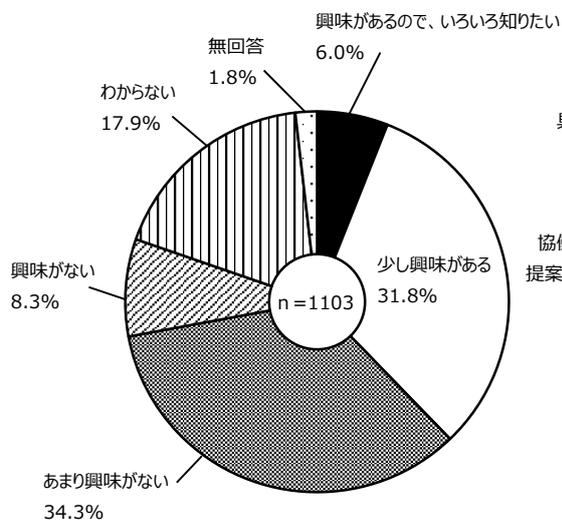
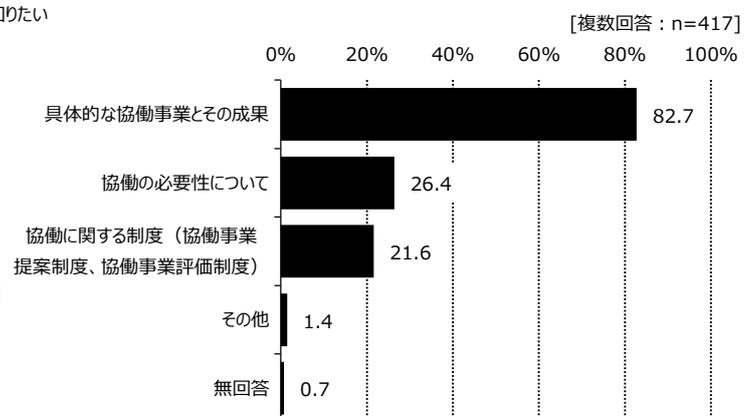


図 27 「協働」について興味はあるか



※図 27 で「興味があるので、いろいろ知りたい」「少し興味がある」を選択した回答者を対象とする

図 28 「協働」について理解を深めたいと思うものは

■「協働によるまちづくり」を進めるために市が力を入れるべきこと（n=1103：複数回答）

「小さな会場で、地域の身近な課題について話し合えるような事業を行う」(31.3%)が最も高く3割を超えている。続いて「市ホームページの協働に関する情報を充実させる」(26.9%)、「職員が地域活動や市民活動など公益的な活動に参加しやすい環境を作る」(25.0%)、「市公式ツイッターの活用や、facebook アカウントを取得するなど、SNSを活用して情報を提供する」(19.8%)と続いている。

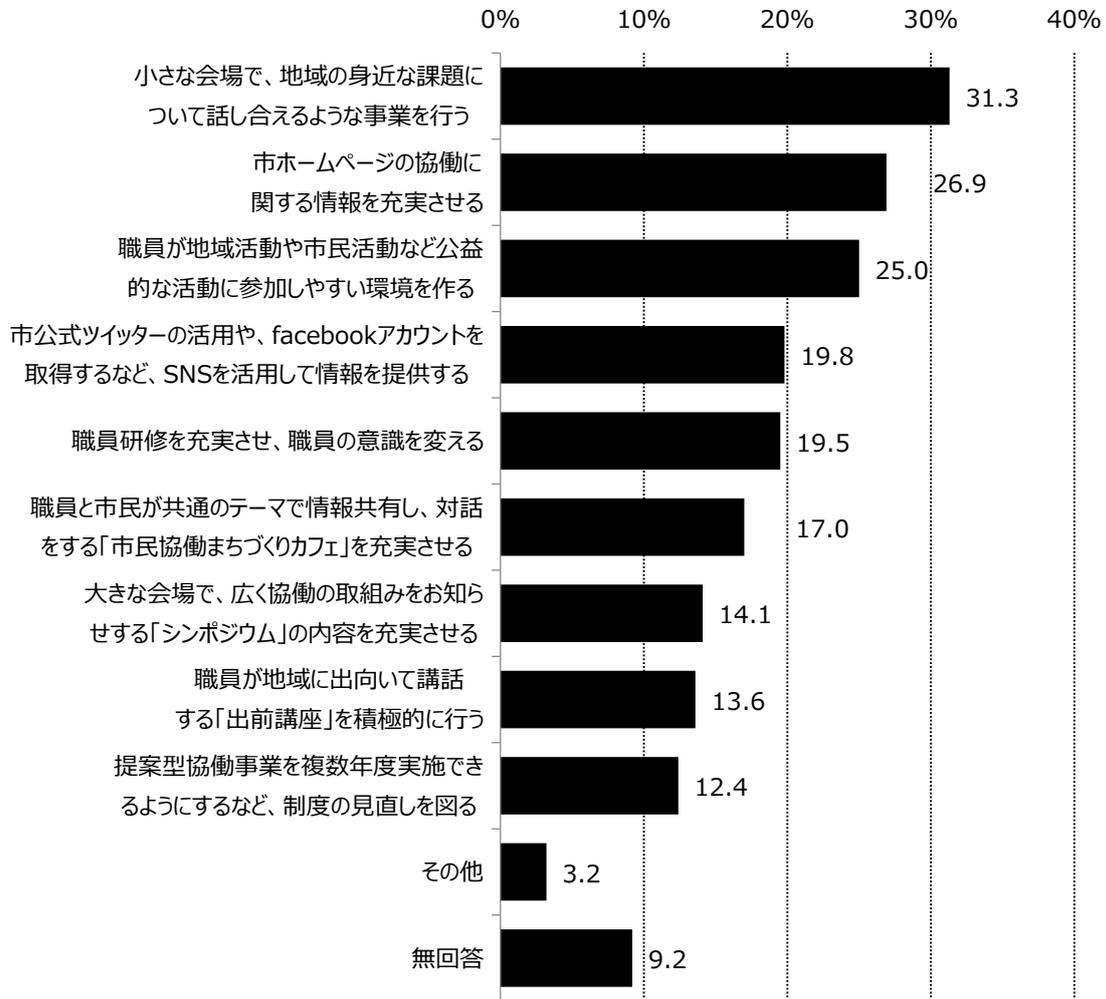


図 29 「協働によるまちづくり」を進めるために市が力を入れるべきこと

【府中の森芸術劇場】について

■「府中の森芸術劇場」を利用したことがあるか (n=1103)

「ほとんど利用しない」(31.6%)と「全く利用したことがない」(22.3%)を合わせた『利用しない』割合は5割(53.9%)を超える。また、利用目的としては「イベント・公演等の鑑賞」(88.0%)が最も高く、施設・設備の良さ(魅力)としては「施設へのアクセス」(43.9%)、「ホールの規模(舞台の広さ、客席数)」(40.2%)、「美観、清潔感」(39.8%)の順に高くなっている。

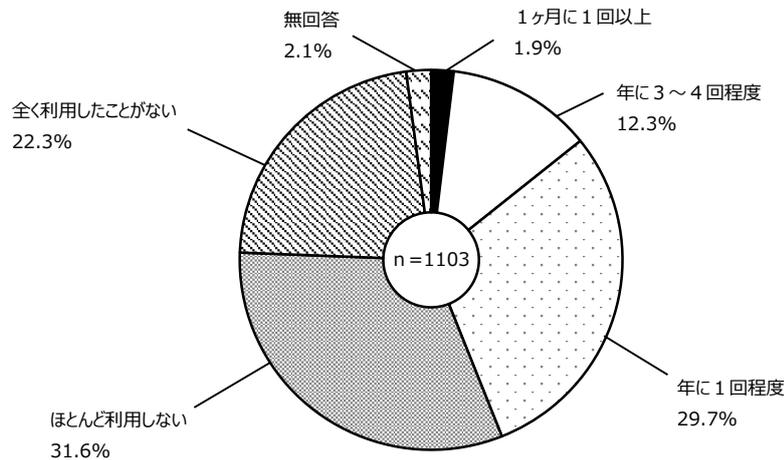


図 30 「府中の森芸術劇場」を利用したことがあるか

| 「府中の森芸術劇場」の利用目的 | 割合 (%) |
|-------------------|--------|
| イベント・公演等の鑑賞 | 88.0 |
| 散歩（周辺の公園などを含む）のため | 38.4 |
| レストランの利用 | 12.6 |
| イベント・公演等の出演 | 11.3 |
| 会議室の利用 | 3.7 |
| リハーサル室の利用 | 3.1 |
| 練習室の利用 | 2.7 |
| その他 | 1.4 |
| (無回答) | 0.8 |

| 「府中の森芸術劇場」の施設・設備の良さ（魅力） | 割合 (%) |
|-------------------------|--------|
| 施設へのアクセス | 43.9 |
| ホールの規模（舞台の広さ、客席数） | 40.2 |
| 美観、清潔感 | 39.8 |
| ホールの音響 | 27.2 |
| ホールの舞台設備（機械設備、照明等） | 19.0 |
| ホールの客席（座り心地・舞台の見やすさ） | 19.0 |
| 専門性のあるホール（民族芸能、音楽等） | 15.1 |
| レストラン | 3.7 |
| 親子室の設置 | 1.4 |
| 練習室の使い勝手 | 1.4 |
| 楽屋・リハーサル室などバックステージの使い勝手 | 1.0 |
| 会議室の使い勝手 | 1.0 |
| 特にない | 6.0 |
| その他 | 2.5 |
| (無回答) | 3.3 |

※図 30 で「1ヶ月に1回以上」「年に3~4回程度」「年に1回程度」を選択した回答者を対象とする

表 4 「府中の森芸術劇場」の利用目的

表 5 「府中の森芸術劇場」の良さ（魅力）について

■ 劇場(ホール)を利用する上で最優先に求めること (n=1103：複数回答)

「施設へのアクセスがよいこと」(58.8%)が6割近くで最も高くなっている。続いて、「利用料金が適正であること」(41.3%)、「駐車場や駐輪場が整備されていること」(21.7%)、「ホールの客席(座り心地・舞台の見やすさ等)が快適であること」(21.1%)、「ホールの音響が良いこと」(16.6%)、「外観や内部の空間の雰囲気やデザインがよいこと」(12.0%)、「運営スタッフの対応が丁寧であること」(11.7%)と続いている。「楽屋・リハーサル室などバックステージが充実していること」(0.5%)、「搬入・搬出がしやすいこと」(1.1%)は低い割合となっている。

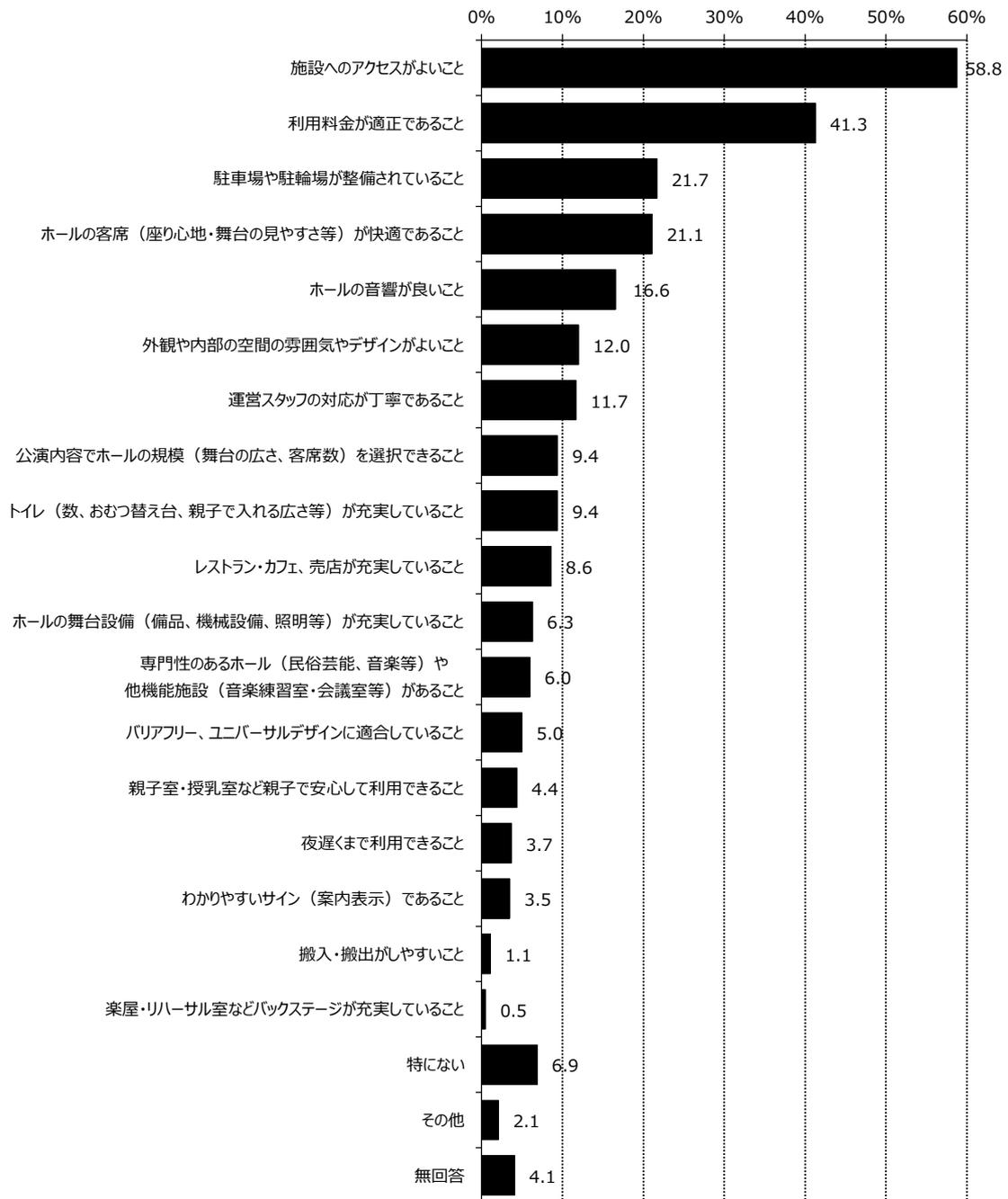


図 31 劇場(ホール)を利用する上で最優先に求めること

■ 今後、「府中の森芸術劇場」を利用したいか (n=1103)

「利用したい」(72.5%)が7割を超えており、「利用したくない」(10.8%)は1割程度となっている。

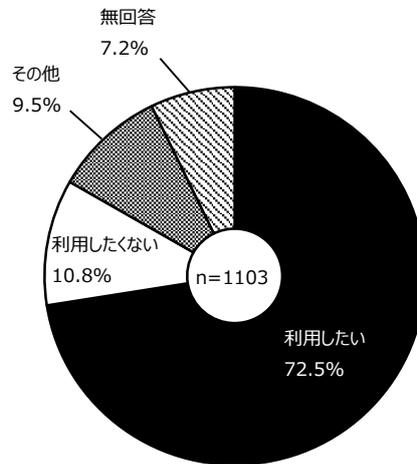


図 32 今後、「府中の森芸術劇場」を利用したいか

【スポーツ・運動】について

■ スポーツ活動全般についてどう思うか (n=1103)

「必要である」(47.4%)と「ある程度必要である」(40.6%)を合わせた『必要と思っている』割合は9割近くとなっている(88.0%)。

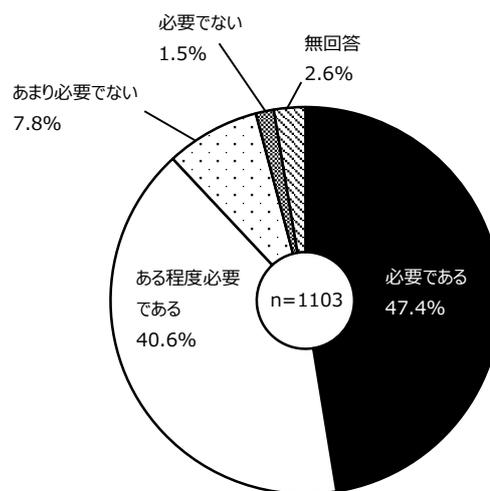


図 33 スポーツ活動全般についてどう思うか

■この1年間にスポーツや運動を行ったか (n=1103：複数回答)

「ウォーキング・散歩(散策、ペットの散歩、階段の昇り降りなどを含む)」(70.9%)が最も高くなっている。

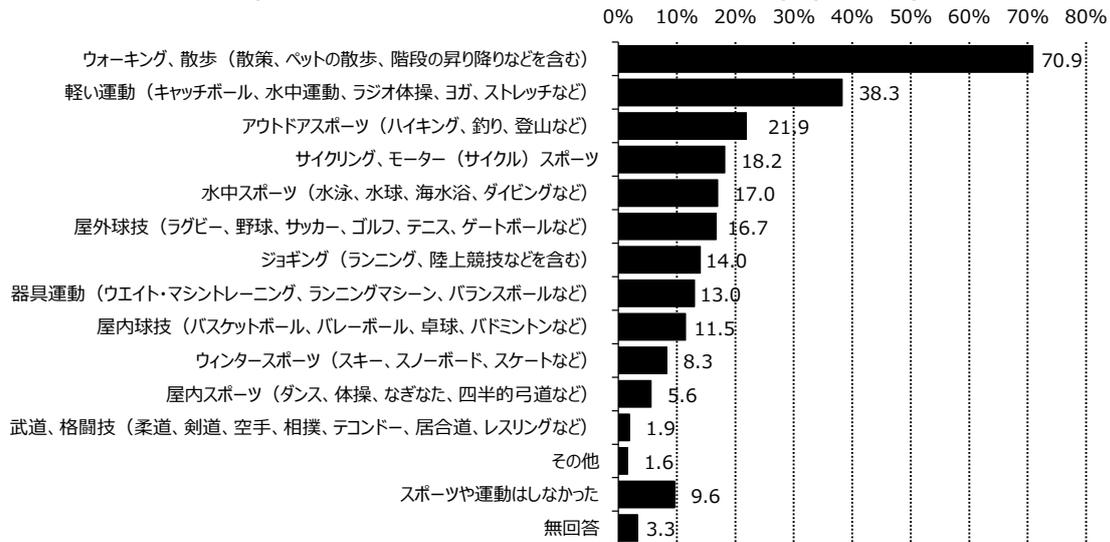
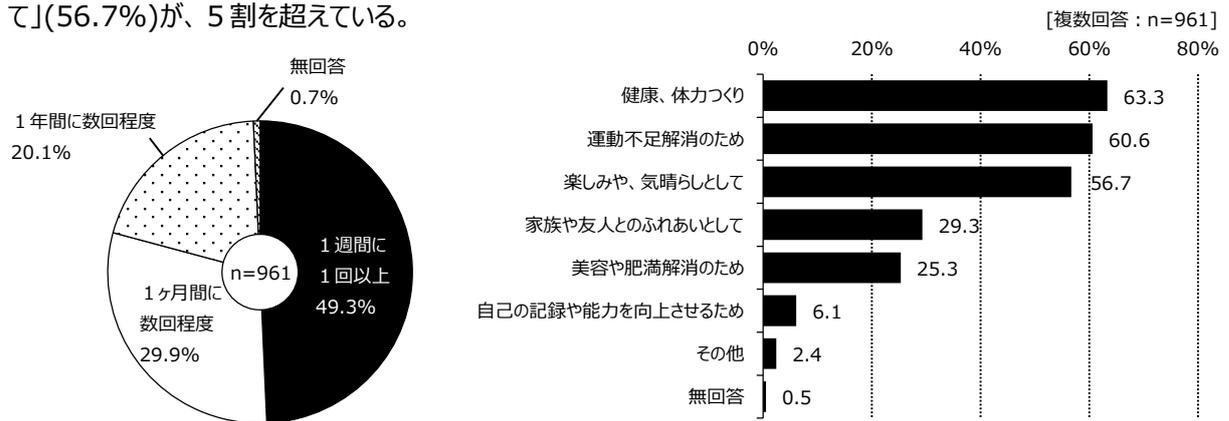


図 34 この1年間にスポーツや運動を行ったか

頻度としては、「1週間に1回以上」(49.3%)が約半数で一番高い。また、スポーツや運動をした理由としては「健康、体力づくり」(63.3%)、「運動不足解消のため」(60.6%)、「楽しみや、気晴らしとして」(56.7%)が、5割を超えている。

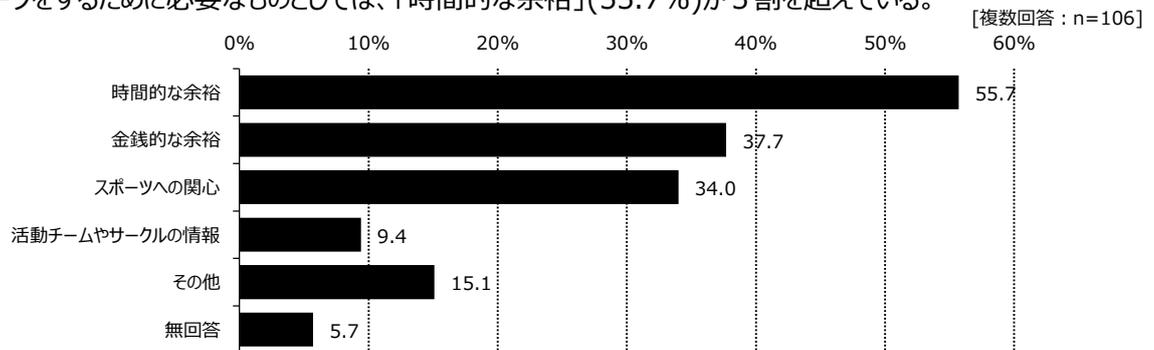


※図 34 で行ったスポーツを選択した回答者を対象とする

図 35 この1年間にスポーツや運動をどのくらいの頻度で行ったか

図 36 スポーツや運動をした理由

スポーツをするために必要なものとしては、「時間的な余裕」(55.7%)が5割を超えている。



※図 34 で「スポーツや運動はしなかった」を選択した回答者を対象とする

図 37 スポーツをするために何が必要か

■ 今後行ってみたいスポーツや運動は何か (n=1103 : 複数回答)

「ウォーキング、散歩(散策、ペットの散歩、階段の昇り降りなどを含む)」(49.1%)、「軽い運動(キャッチボール、水中運動、ラジオ体操、ヨガ、ストレッチなど)」(42.4%)は4割を超え、「アウトドアスポーツ(ハイキング、釣り、登山など)」(29.7%)、「水中スポーツ(水泳、水球、海水浴、ダイビングなど)」(29.6%)は3割ほどとなっている。「武道、格闘技(柔道、剣道、空手、相撲、テコンドー、居合道、レスリングなど)」(8.4%)については1割に満たない。

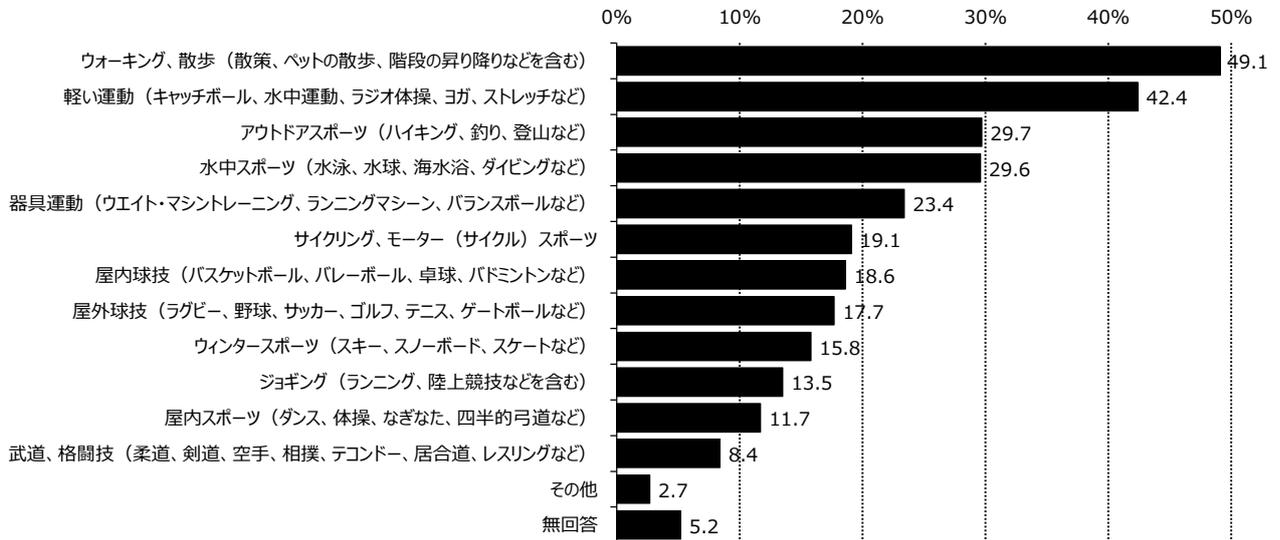


図 38 今後行ってみたいスポーツや運動は何か

■ 府中市を拠点に活動するトップチームの認知度 (n=1103 : 複数回答)

「FC 東京(サッカー)」(84.8%)が8割半ばで最も高い。続いて、「東芝ブレイブルーパス (ラグビー)」(70.4%)、「サントリーサンゴリアス (ラグビー)」(63.0%)、「府中アスレティックフットボールクラブ (フットサル)」(21.4%)、「アルバルク東京 (バスケットボール)」(15.5%)の順となっている。

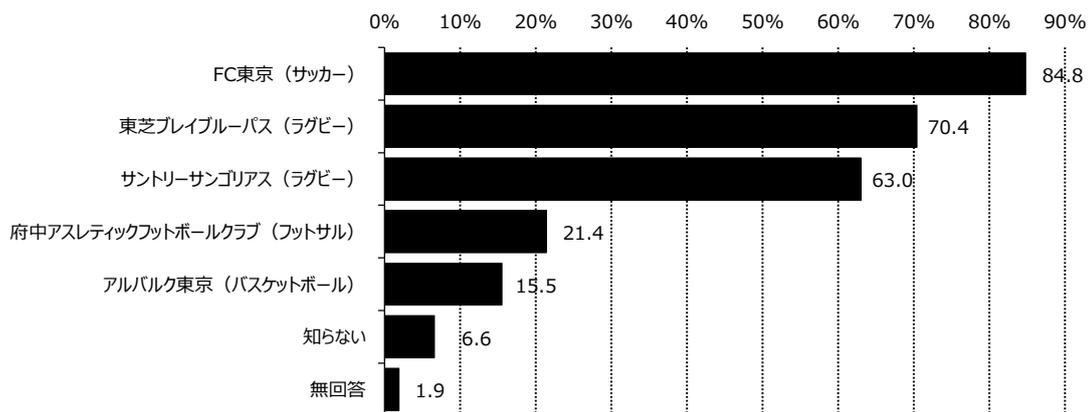


図 39 府中市を拠点に活動するトップチームの認知度

■ 1年間で観戦したことがあるトップチームについて（n=1103：複数回答）

「観戦していない」が6割を超えて、最も多い。観戦した試合では、「FC東京(サッカー)」(29.3%)が約3割で最も高かった。続いて、「東芝ブレイブルーパス(ラグビー)」(15.6%)、「サントリーサンゴリアス(ラグビー)」(14.1%)、「アルバルク東京(バスケットボール)」(3.5%)、「府中アスレティックフットボールクラブ(フットサル)」(2.7%)の順となっている。

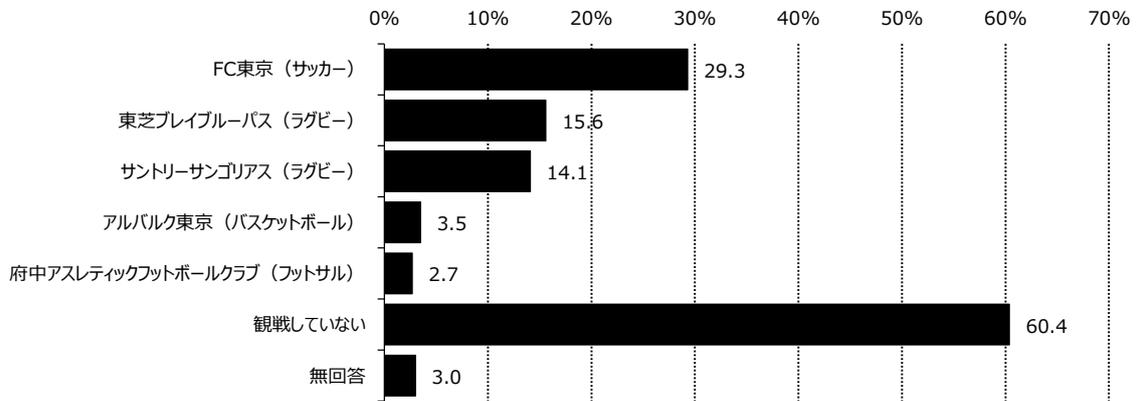
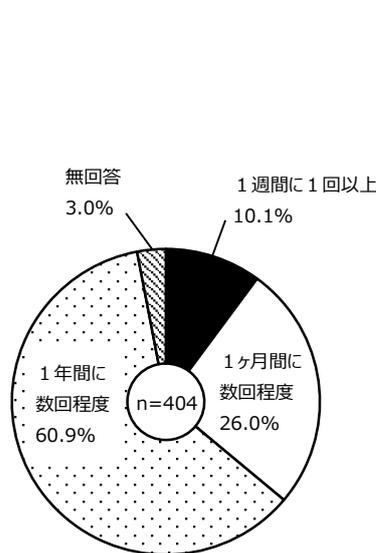


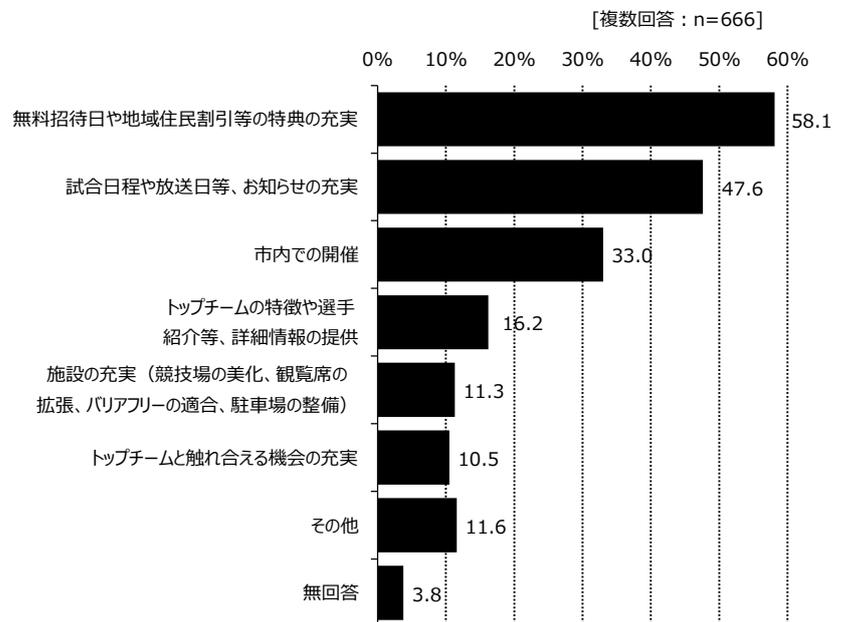
図 40 1年間で観戦したことがあるトップチームについて

観戦頻度としては、「1年間に数回程度」(60.9%)が6割を超えて最も高い。また、観戦するために必要なことは、「無料招待日や地域住民割引等の特典の充実」(58.1%)が約6割で最も高い。



※図 40 で観戦したことがあるトップチームを選択した回答者を対象とする

図 41 トップチームの試合観戦の頻度



※図 40 で「観戦していない」を選択した回答者を対象とする

図 42 試合観戦するために必要なこと

【地域福祉の推進】について

■「住民相互の支えあい」についてどう思うか（n=1103）

「必要だと思うが、何をしてもよいのか分からない」(38.3%)が約4割を占め、最も高い。続いて、「必要だと思うが、手間や時間がかかると思うので、あまりやりたくない」(23.9%)、「機会があれば関わりたい」(21.4%)、「地域福祉の推進は、行政や社会福祉協議会が進めることが望ましい」(8.5%)の順となっている。

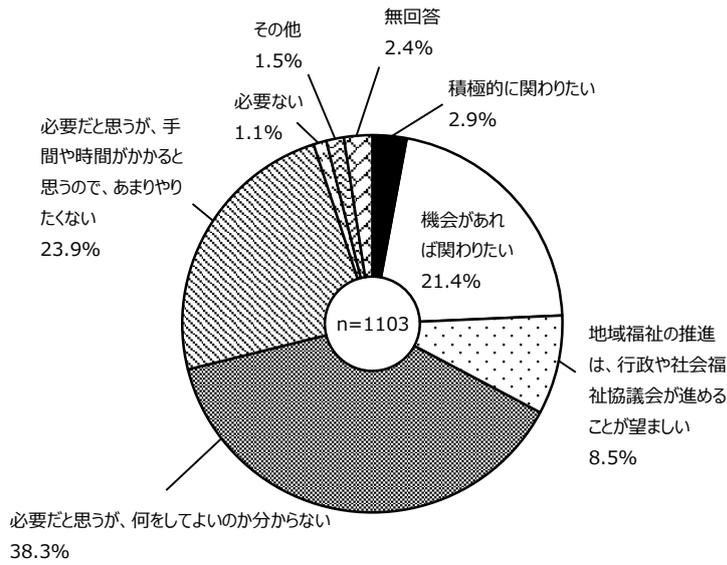


図 43 「住民相互の支えあい」についてどう思うか

■「わがまち支えあい協議会」を知っているか（n=1103）

「知らない」(77.0%)が8割弱を占め、最も高い。続いて、「聞いたことはある」(18.9%)、「よく知っている」(3.2%)の順となっている。

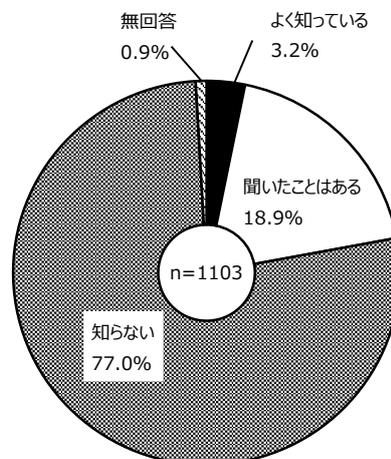


図 44 「わがまち支えあい協議会」を知っているか

■「わがまち支えあい協議会」は必要だと思うか（n=1103）

「わからない」(32.7%)が最も高く、続いて、「必要だと思うが、あまり関わりたくない」(32.4%)、「自治会や町会など既にある地域組織で十分だと思う」(19.8%)、「必要だし、自分も関わりたい」(11.9%)の順となっている。

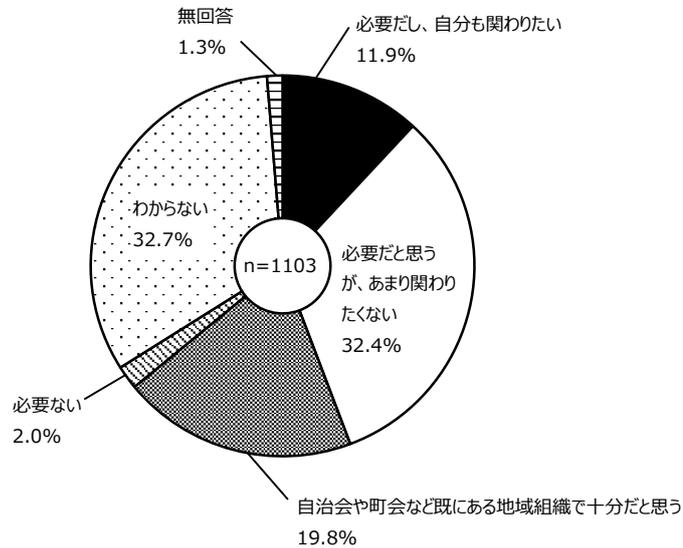


図 45 「わがまち支えあい協議会」は必要だと思うか

■「地域福祉コーディネーター」を知っているか（n=1103）

「知らない」(79.2%)が最も多く、8割弱を占める。続いて、「聞いたことはある」(16.9%)、「よく知っている」(2.7%)の順でとなっている。

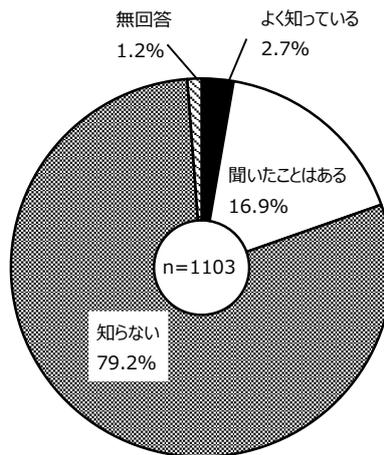


図 46 「地域福祉コーディネーター」を知っているか

■「地域福祉コーディネーター」が配置された場合活用するか (n=1103)

「活用したい」(4.9%)と「機会があれば活用したい」(52.9%)を合わせた『活用したい』割合は、5割半ば(57.8%)を超えている。「活用したいとは思わない」(11.0%)は約1割、「わからない」(29.8%)は約3割となっている。

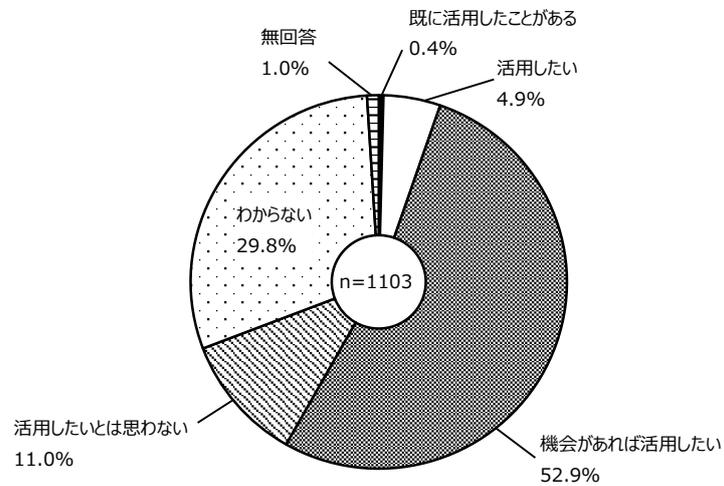


図 47 「地域福祉コーディネーター」が配置された場合活用するか

【福祉サービス第三者評価】について

■「福祉サービス第三者評価」を知っているか (n=1103)

「知らない」(85.0%)が最も高く、8割半ばである。「聞いたことはある」(8.0%)、「知っている」(6.0%)は1割に満たない。

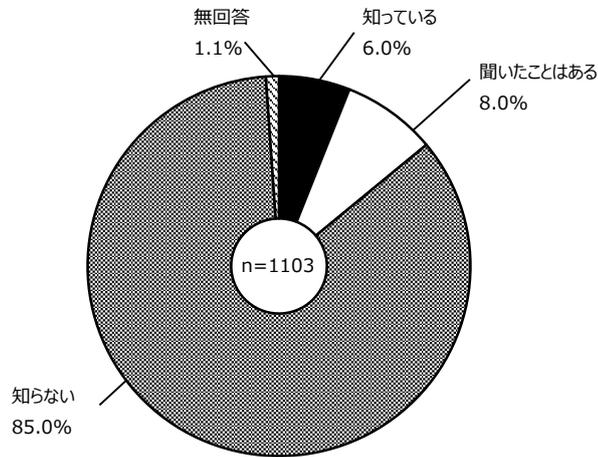
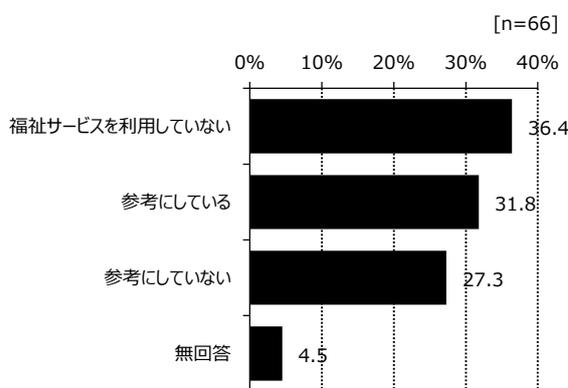
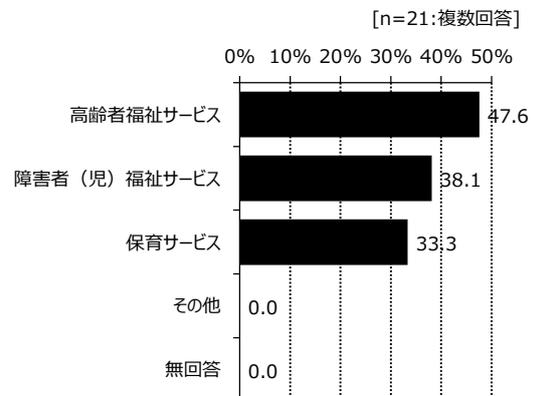


図 48 「福祉サービス第三者評価」を知っているか



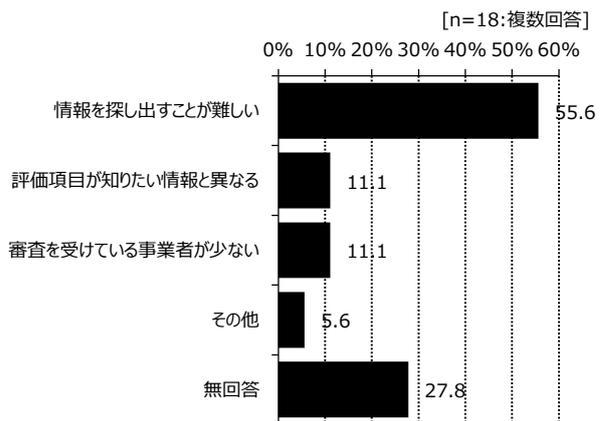
※図 48 で「知っている」を選択した回答者を対象とする

図 49 「福祉サービス第三者評価」の結果を参考にしているか



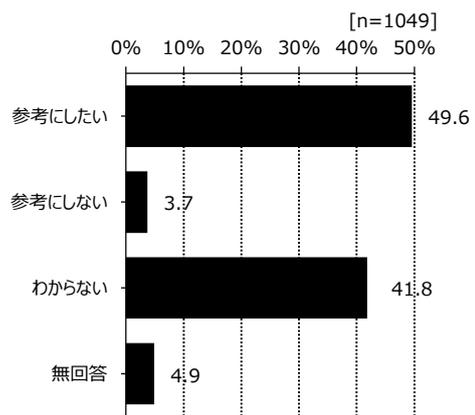
※図 49 で「参考になっている」を選択した回答者を対象とする

図 50 どの福祉サービスについて「福祉サービス第三者評価」を閲覧したか



※図 49 で「参考にしていない」を選択した回答者を対象とする

図 51 「福祉サービス第三者評価」を参考にしていない理由は何か



※図 48 で「聞いたことはある」「知らない」図 49 で「福祉サービスを利用していない」を選択した回答者を対象とする

図 52 「福祉サービス第三者評価」を参考にしたいと思うか

【地域包括支援センター】について

■「地域包括支援センター」の利用について (n=1103)

「知っているが利用したことはない」(41.4%)と「知らない」(45.9%)を合わせた『利用したことがない』割合は8割半ばを超えている(87.3%)。また、知った方法としては「「広報ふちゅう」や市ホームページで知った」(40.8%)が最も高い。「地域包括支援センター」の業務・機能については「高齢者等の様々な相談支援」(79.4%)が最も知られており、約8割となっている。

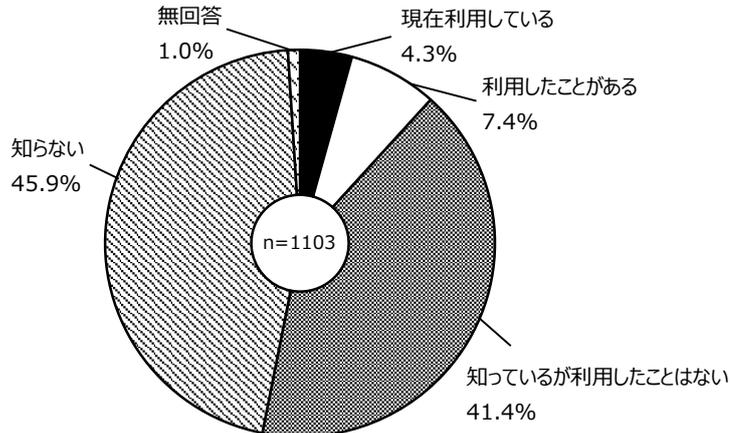
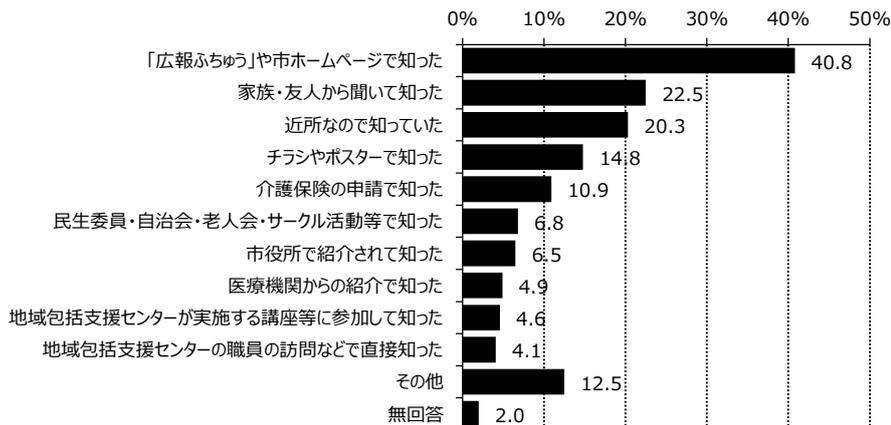


図 53 「地域包括支援センター」の利用について

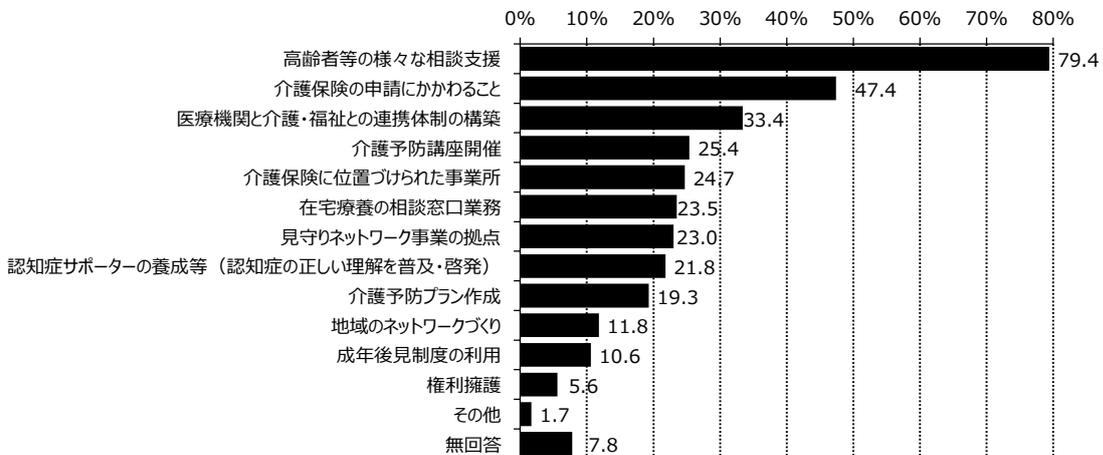
[n=586:複数回答]



※図 53 で「現在利用している」「利用したことがある」「知っているが利用したことはない」を選択した回答者を対象とする

図 54 「地域包括支援センター」を何で知ったか

[n=586:複数回答]



※図 53 で「現在利用している」「利用したことがある」「知っているが利用したことはない」を選択した回答者を対象とする

図 55 「地域包括支援センター」の業務・機能について、知っている項目

■「地域包括支援センター」で強化すべきサービスについて（n=1103：複数回答）

「高齢者等の様々な相談支援」(57.7%)が最も高く、5割を超えている。続いて、「医療機関と介護・福祉との連携体制の構築」(35.4%)、「介護保険の申請にかかわること」(26.0%)、「在宅療養の相談窓口としての機能」(22.8%)と続いている。



図 56 「地域包括支援センター」で強化すべきサービスについて

■ 高齢者の生活や介護等に関して相談したことがあるか (n=1103)

「相談する必要がある」(62.3%)が最も高く、6割を超えている。続いて、「相談したことがある」(21.4%)、「相談したいが、どこに相談して良いかわからない」(7.0%)、「相談したいが、相談したことはない」(6.3%)と続いている。また、どこ(だれ)に相談したかについては「ケアマネジャー」(55.9%)が最も高く、5割半ばとなっている。

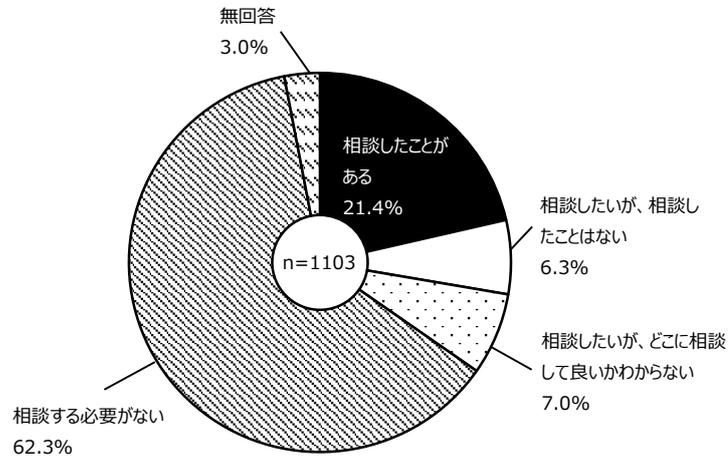
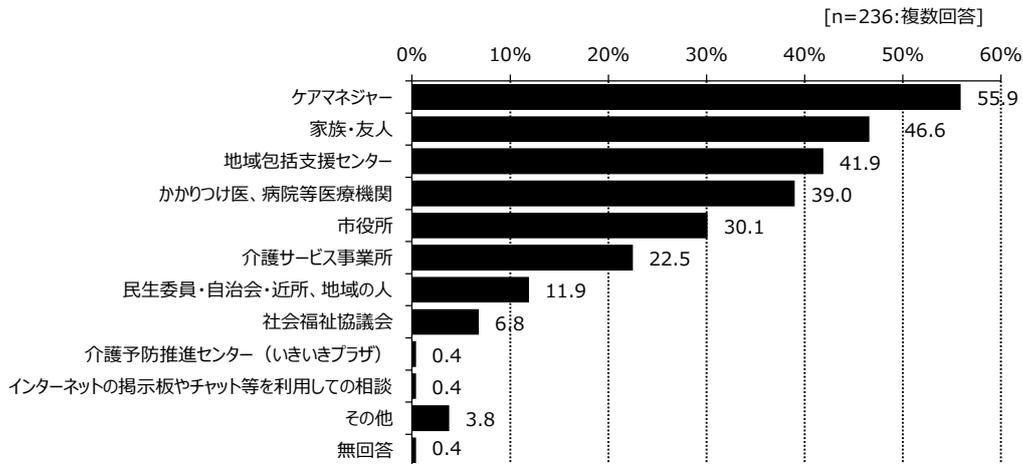


図 57 高齢者の生活や介護等に関して、どこ(だれ)かに相談したことがあるか



※図 57 で「相談したことがある」を選択した回答者を対象とする

図 58 高齢者の生活や介護等に関してどこ(だれ)に相談したか

【超高齢化問題】について

■ 2025年問題について、問題意識を持っているか (n=1103)

「少し気になる」(45.0%)は、4割半ばで最も高い。続いて、「問題意識を持っている」(36.2%)、「問題意識はない」(6.4%)の順となっている。高齢化社会が進む中で、地域の中で安心して暮らし続けるためには何が一番必要かについては、「地域包括支援センター等、身近な相談施設や民生委員とのつながり」(34.2%)が最も高い。

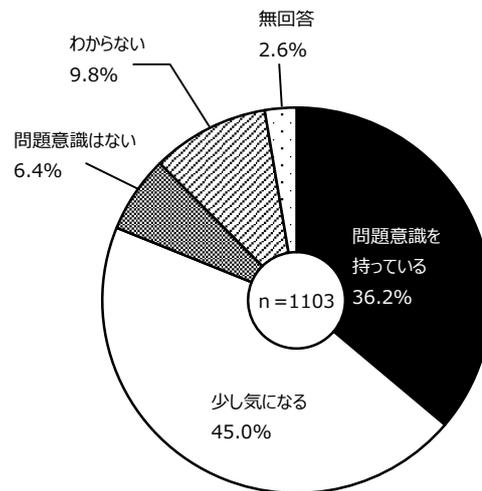
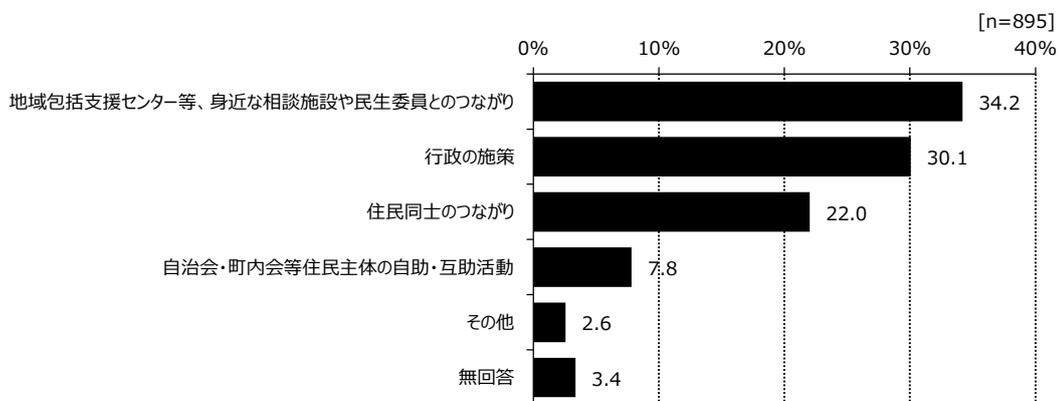


図 59 2025年問題について、問題意識を持っているか



※図 59 で「問題意識を持っている」「少し気になる」を選択した回答者を対象とする

図 60 高齢化社会が進む中で、地域の中で安心して暮らし続けるために必要だと思うこと

■ 高齢者に対する施策として行政に望むものはなにか（n=1103：複数回答）

「老人ホーム等入所できる施設を整備する」(53.2%)が最も高く、5割を超える。続いて、「認知症高齢者への対策を充実する」(41.9%)、「高齢者が働く場所を確保する」(37.3%)、「高齢者の見守り体制を構築、支援する」(30.6%)の順となっている。一方、低いのは「地域ごとのボランティア活動を支援する」(7.3%)、「在宅療養を推進する」、「道路の段差解消や住宅改修等の基盤整備を推進する」(12.6%)の順となっている。

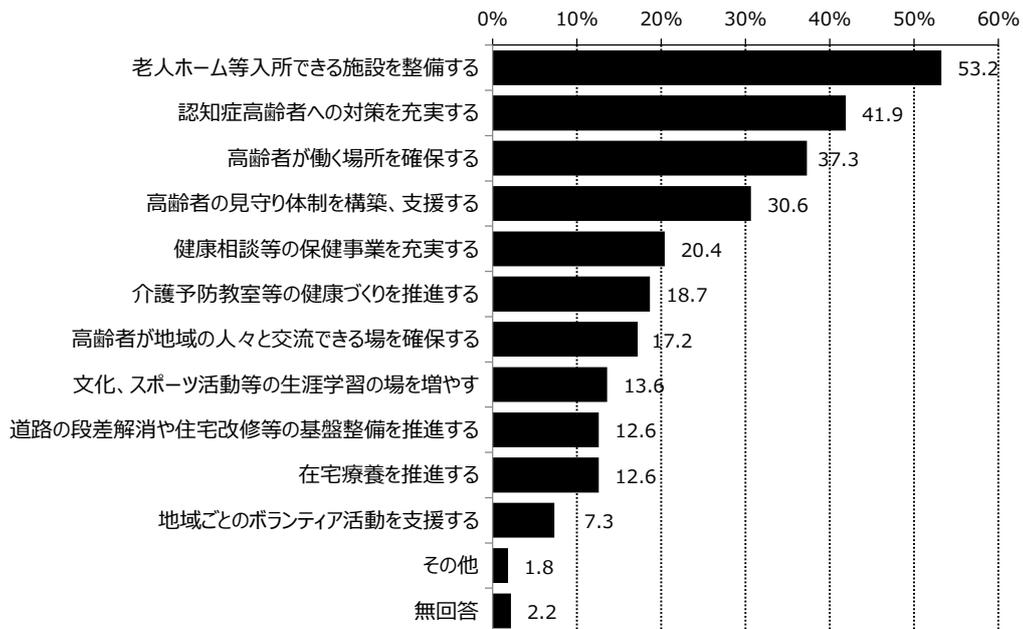


図 61 高齢者に対する施策として行政に望むものはなにか

【こころの健康】について

■ 不満や悩みに耳を傾けてくれる人について (n=1103：複数回答)

「同居の親族(家族)」(68.0%)が最も高い。続いて、「友人」(56.2%)、「同居の親族(家族)以外の親族」(29.1%)、「職場の同僚など」(21.2%)、「近所の知り合い」(8.3%)の順となっている。

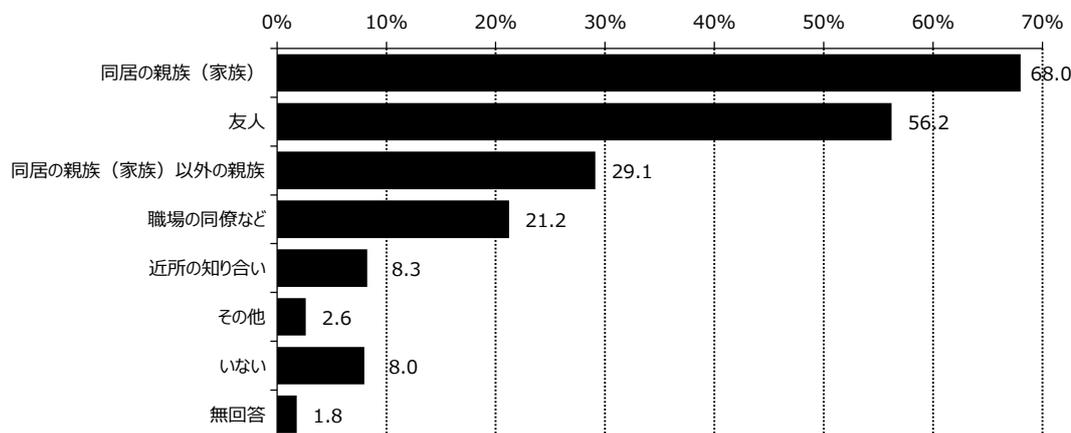


図 62 不満や悩みに耳を傾けてくれる人について

■ 悩みなどを感じたときに誰かに相談などをすることにためらいを感じるか (n=1103)

「そう思う」(14.0%)と「どちらかというと思う」(32.6%)を合わせた『思うと感じる』割合は 46.6%、「どちらかというとは思わない」(17.3%)と「そうは思わない」(29.5%)を合わせた『思わないと感じる』割合は 46.8%であり、概ね半々の割合となっている。

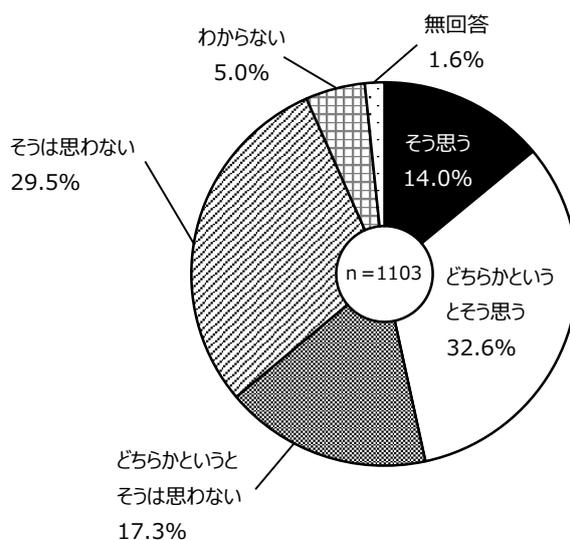


図 63 悩みなどを感じたときに誰かに相談などをすることにためらいを感じるか

■この1ヶ月間に日常生活で不満、悩み、苦労、ストレスなどがあつたか（n=1103）

「大いにある」(23.6%)と「多少ある」(39.2%)を合わせた『あると感じる』割合は、6割を超える(62.8%)。また、「あまりない」(30.2%)と「まったくない」(5.3%)を合わせた『ないと感じる』割合は、3割半ばである(35.5%)。不満、悩み、苦労、ストレスなどの原因としては、「勤務問題(転勤、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働など)」(49.7%)が最も高く、5割近い。

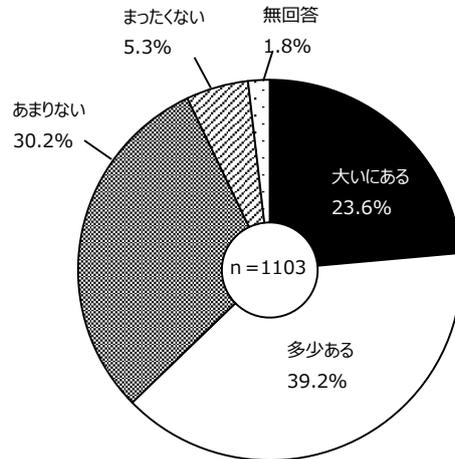
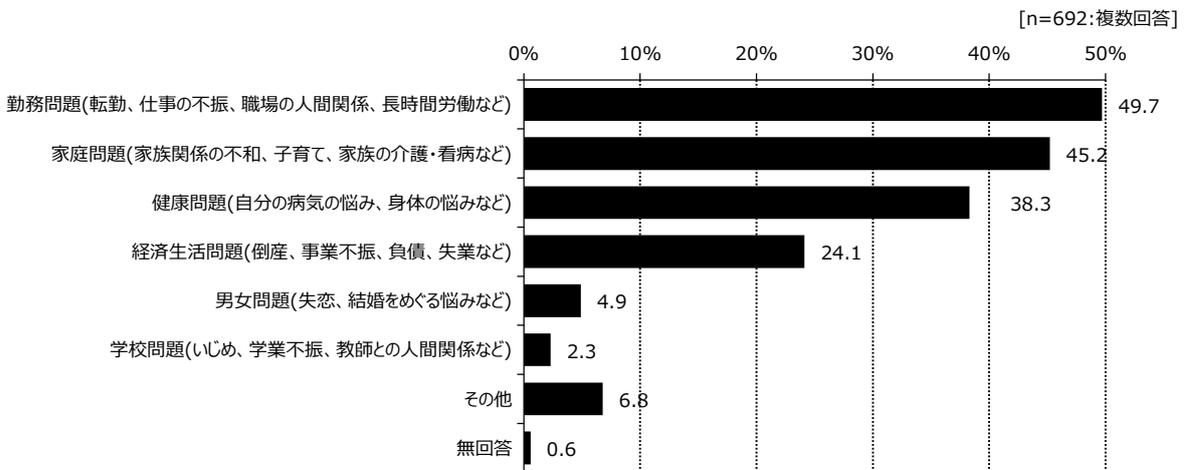


図 64 この1ヶ月間に日常生活で不満、悩み、苦労、ストレスなどがあつたか



※図 64 で「大いにある」「多少ある」を選択した回答者を対象とする

図 65 不満、悩み、苦労、ストレスなどの原因について

■ 身近な人から「死にたいほどつらい」と打ち明けられたときの対応について (n=1103)

「ひたすら耳を傾けて聞く」(41.9%)が最も高く、4割を超えている。続いて、「(死にたいぐらい)つらいんだね」と共感を示す」(19.3%)、「医師など専門家に相談した方がよいと提案する」(13.3%)の順となっている。

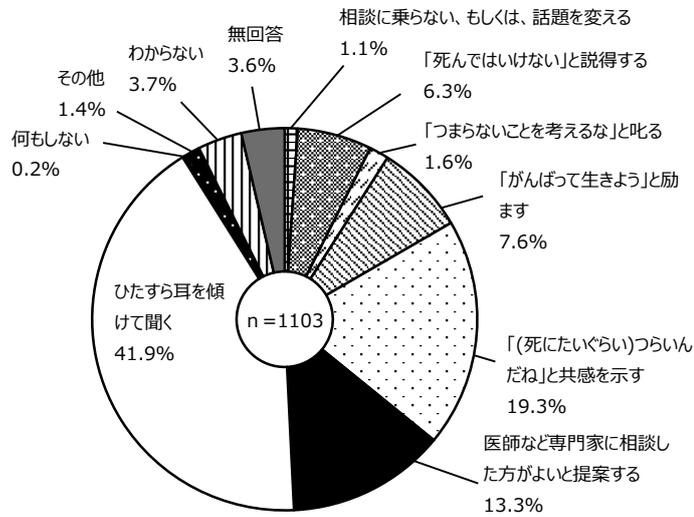


図 66 身近な人から「死にたいほどつらい」と打ち明けられたときの対応について

■ 自殺対策の取組みとして、どのようなことが必要になるか (n=1103：複数回答)

「様々な悩みに対応した相談窓口の設置」(54.6%)が最も高く、5割半ばとなっている。続いて、「様々な分野におけるゲートキーパー(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて必要な支援につなげ、見守る人)の養成」(40.4%)、「子どもの自殺予防」(38.6%)の順となっている。

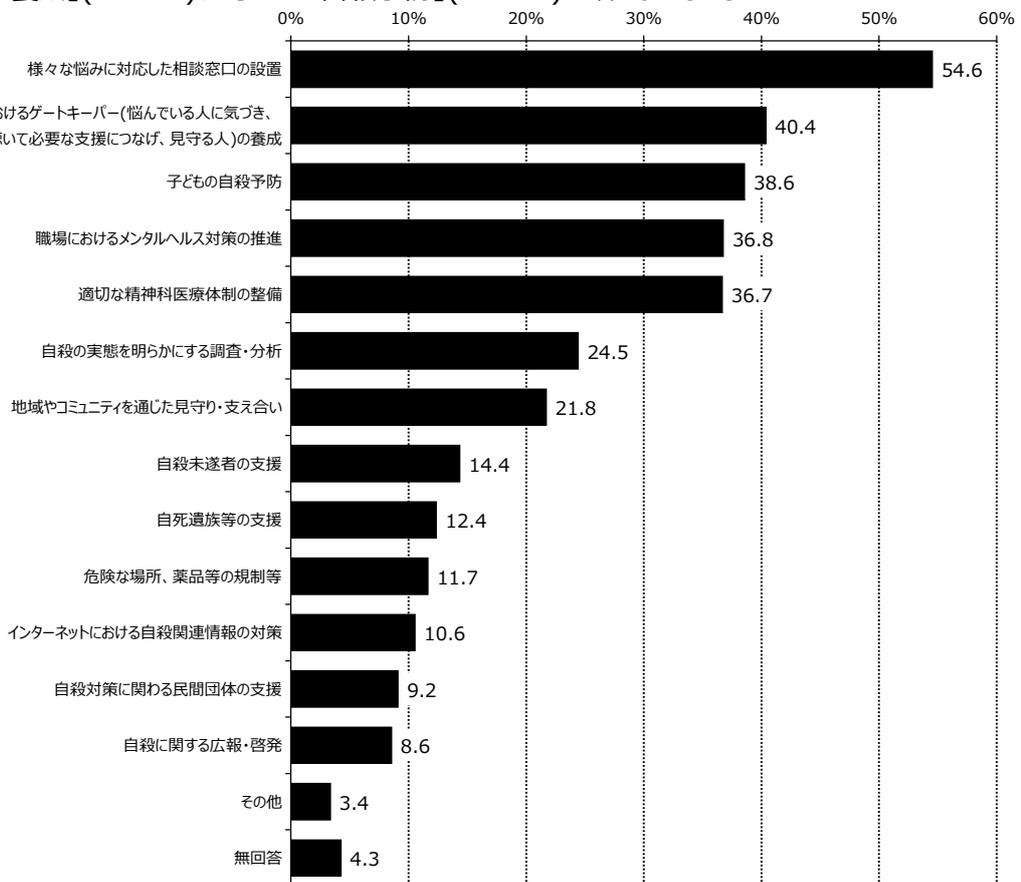


図 67 自殺対策の取組みとして、どのようなことが必要になるか

【生涯学習への取組み】について

■ 講座やサークル活動への参加について (n=1103)

「どちらも参加したことがない」(74.1%)が7割を超えている。

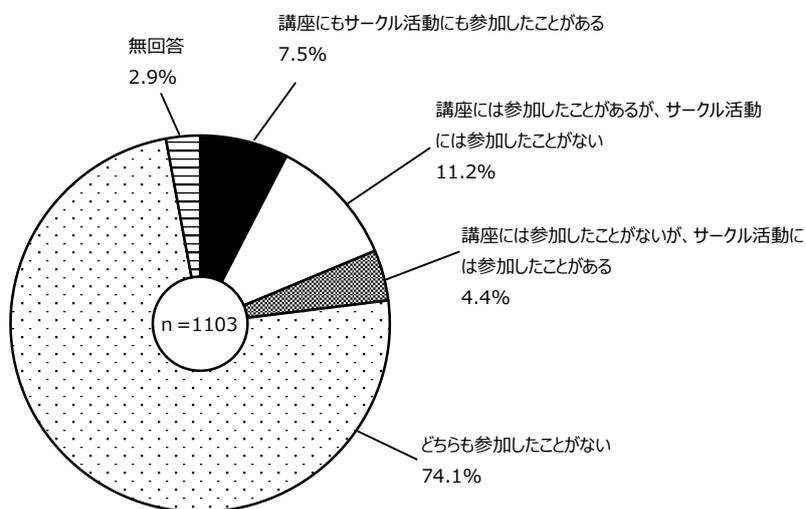


図 68 講座やサークル活動への参加について

■ 「生涯学習センター」の利用について (n=1103)

「まったく利用したことがない」(41.3%)が最も高く、続いて「その他の用途で利用したことがある（図書館、食堂、ロビーなど）」(24.3%)、「貸施設を利用したことがある」(17.0%)、「講座を受講したことがある」(8.3%)の順となっている。

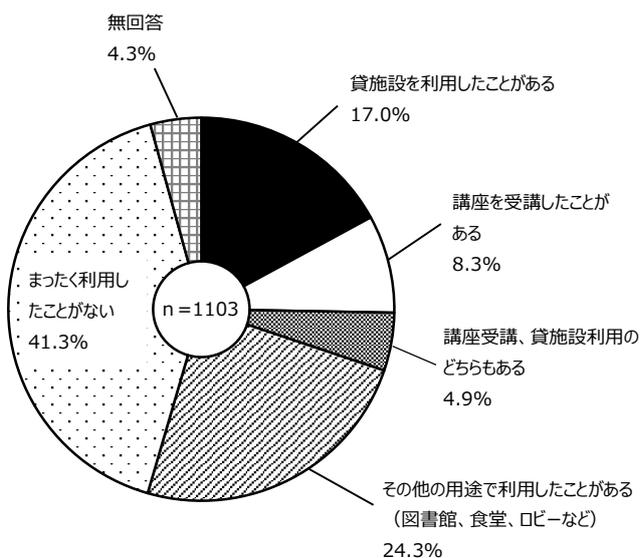


図 69 「生涯学習センター」の利用について

■「学び返し」という言葉を知っているか (n=1103)

「言葉も意味も知らない」(73.1%)が最も高く、7割を超えている。続いて、「言葉も意味も知っている」(13.1%)、「言葉は知っているが、意味は知らない」(10.6%)の順となっている。

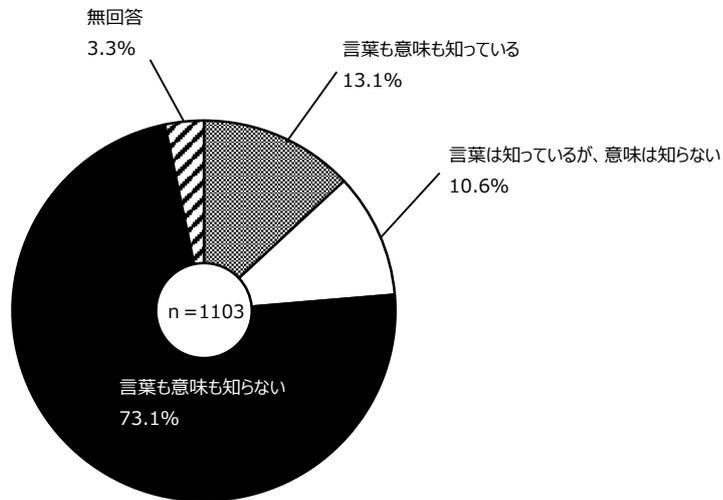


図 70 「学び返し」という言葉を知っているか

■「学び返し」を実践しているか (n=1103)

「実践していないが、機会があれば実践してみたい」(47.7%)が最も高く、続いて「実践するつもりはない」(39.5%)、「すでに実践している」(3.9%)の順となっている。また、「学び返し」をどのような場面で実践したいかについては、「サークル活動の一員として活動したい」(41.3%)が最も高い。

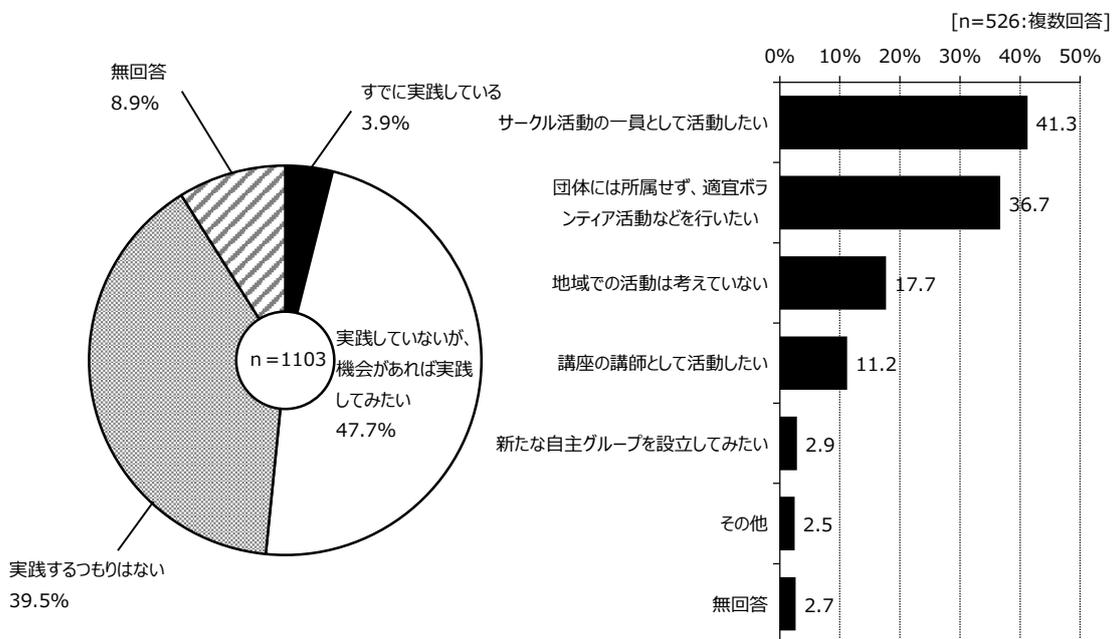


図 71 「学び返し」を実践しているか

※図 71 で「実践していないが、機会があれば実践してみたい」を選択した回答者を対象とする

図 72 「学び返し」をどのような場面で実践したいと思うか

第 49 回府中市市政世論調査（概要版）

平成 29 年 10 月

発行：府中市政策総務部広報課

東京都府中市宮西町二丁目 24 番地

Tel 042-366-1711

実施：株式会社 T D S

東京都府中市晴見町二丁目 24 番地の 1

Tel 042-352-3330